

2019年度あゆみ業績

神経

—論文—

1. Iwama K, Mizuguchi T, Takeshita E, Nakagawa E, Okazaki T, Nomura Y, Iijima Y, Kajiura I, Sugai K, Saito T, Sasaki M, Yuge K, Saikusa T, Okamoto N, Takahashi S, Amamoto M, Tomita I, Kumada S, Anzai Y, Hoshino K, Fattal-Valevski A, Shiroma N, Ohfu M, Moroto M, Tanda K, Nakagawa T, Sakakibara T, Nabatame S, Matsuo M, Yamamoto A, Yukishita S, Inoue K, Waga C, Nakamura Y, Watanabe S, Ohba C, Sengoku T, Fujita A, Mitsunashi S, Miyatake S, Takata A, Miyake N, Ogata K, Ito S, Saito H, Matsuishi T, Goto YI, Matsumoto N. Genetic landscape of Rett syndrome-like phenotypes revealed by whole exome sequencing. *J Med Genet.* 2019;56(6):396-407.
2. Ozono S, Nagamitsu S, Matsuishi T, Yamashita Y, Ogata A, Suzuki S, Mashida N, Koseki S, Sato H, Ishikawa S, Togasaki Y, Sato Y, Sato S, Sasaki K, Shimada H, Yamawaki S. Reliability and validity of the Children's Depression Inventory-Japanese version. *Pediatr Int.* 2019;61(11):1159-1167.
3. Nagamitsu S, Fukai Y, Uchida S, Matsuoka M, Iguchi T, Okada A, Sakuta R, Inoue T, Otani R, Kitayama S, Koyanagi K, Suzuki Y, Sumi Y, Takamiya S, Fujii C, Tsurumaru Y, Ishii R, Kakuma T, Yamashita Y. Validation of a childhood eating disorder outcome scale. *Biopsychosoc Med.* 2019 Sep 11;13:21. doi: 10.1186/s13030-019-0162-3. eCollection 2019.
4. Yae Y, Kawano G, Yokochi T, Imagi T, Akita Y, Ohbu K, Matsuishi T. Fulminant acute disseminated encephalomyelitis in children. *Brain Dev.* 2019 Apr;41(4):373-377.
5. Hashizume N, Tanaka Y, Yoshida M, Fukahori S, Ishii S, Saikusa N, Masui D, Higashidate N, Sakamoto S, Tsuruhisa S, Yuge K, Ohya T, Yagi M, Yamashita Y. Resting energy expenditure prediction using bioelectrical impedance analysis in patients with severe motor and intellectual disabilities. *Brain Dev.* 2019 Apr;41(4):352-358. doi: 10.1016/j.braindev.2018.11.003. Epub 2018 Nov 28.
6. Ichikawa H, Miyajima T, Yamashita Y, Fujiwara M, Fukushi A, Saito K. Phase II/III study of lisdexamfetamine dimesylate in Japanese pediatric patients with attention-deficit/hyperactivity disorder. *J Child Adolesc Psychopharmacol.* 2019 Nov 12. doi: 10.1089/cap.2019.0076. [Epub ahead of print]2019.
7. Ichikawa H, Miyajima T, Yamashita Y, Fujiwara M, Fukushi A, Saito K. Long-term study of lisdexamfetamine dimesylate in Japanese children and adolescents with attention-deficit/hyperactivity disorder. *Neuropsychopharmacology Reports.* doi: 10.1002/npr.2.12091
8. 山下大輔, 向井隆代, 千葉比呂美, 櫻井利恵子, 松岡美智子, 石井隆大, 須田正勇, 下村豪, 須見よし乃, 鈴木雄一, 深井善光, 内田創, 作田亮一, 井上建, 大谷良子, 井口敏之, 鈴木由紀, 高宮静男, 北山真次, 鶴丸靖子, 藤井智香子, 岡田あゆみ, 小柳憲司, 山下裕史朗, 角間辰之, 永光信一郎. 小児摂食態度調査票 (ChEAT-26) の有用性について—神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症との比較から—。子どもの心とからだ 2019;28(1)51-57.
9. 永光信一郎, 村上佳津美. 小児特定疾患カウンセリング料の適応拡大に向けた実態調査. 日本小児科学会雑誌 2019;123(12):1822-1827.
10. 山下裕史朗, 向笠章子, 稲垣真澄. 環境が変える・環境で変わる発達障害の認知機能 ミクロからマクロのエビデンス 発達障害児と保護者に対するサマートリートメントの多面的有効性. 認知神経科学 2019;21(2)130.
11. 高田哲, 米山明, 木村重美, 山下裕史朗. 災害時の子どもへの支援—障害のある子どもたちに焦点をあてて—. 脳と発達 2019; 51: 202-5.

—著書—

1. 山下裕史朗. 神経発達症 / 障害と適応の課題 特集:小児心療のピットフォールⅢ 臨床と研究 2019;96(9):1020-23. (査読なし)
2. 山下裕史朗. 第10回小児科専門医制度の現状と今後の見通し 小児科 2019;60(11):1549-52. (査読なし)
3. 山下裕史朗. Ⅲ. よく診られる症状 38. 注意欠如・多動. 小児科臨床 72巻増刊号 1322-24. (査読なし)
4. 山下裕史朗. ADHDのサマートリートメントプログラム. 認知行動療法事典 第8章 478-79. 2019.8
5. 山下裕史朗. 特集:小児科医が知っておきたい精神医学. 症状からみた鑑別診断・対応のポイント 小児内科 VOL51 No12 2019.12 (査読なし)
6. 辻翔太, 山下裕史朗. ADHDの子どもの心理社会的な支え方～「トリセツ」作成を通じたADHDの子どもへの自己理解促進～. チャイルドヘルス 2019;22:23-28.
7. 永光信一郎. <特集>児童虐待からみた思春期の問題 被虐待児における学童・思春期の精神症状. 思春期学 VOL36 NO.34 2019.12
8. 永光信一郎. 【子どものこころ診療エッセンス】こころの診療の基本 思春期の心理社会的問題. 小児科診療 2019;10:1259-1264.

9. 永光信一郎, 三牧正和. 健やか親子 21(第2次) すべての子どもが健やかに育つ社会を目指して. 小児科 2019;60:1163-1172.

—講演—

1. 山下裕史朗. ADHD 幼児への療育的支援. 第3回多職種のための発達障害の研修会 2019.1.20(京都)

—シンポジウム—

1. 永光信一郎:『君を知ってる?』～思春期健診と思春期アプリによるヘルスプロモーション～平成30年度AMED 脳と心の研究課一般市民向け公開シンポジウム 脳とこころの研究 第四回公開シンポジウム テーマ「脳とこころの発達と成長」2019.3.2(東京)
2. 山下裕史朗:小児医学研究振興財団の国際交流活動～世界に羽ばたく小児科医の育成に向けて～米国の治療システムに学ぶ Summer Treatment Program の実践と多職種連携の実現. 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.21(金沢)(総合シンポジウム-座長兼演者)
3. 永光信一郎:子どものこころにどう触れる?～誰もができる心身症治療 子どもの状態を客観的に把握する～検査の進め方とQTAの利用 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19(金沢)(分野別シンポジウム)
4. 山下裕史朗:発達障害児と保護者に対するサマートリートメントの多面的有効性 第24回認知神経科学会学術集会 2019.7.13(東京)

—教育講演—

1. 山下裕史朗:外来での発達障害児と家族の支援 第29回日本外来小児科学会年次集会 2019.8.31(福岡)
2. 永光信一郎:思春期の親子のかかりつけ医制度を目指して 第29回日本外来小児科学会年次集会 2019.9.1(福岡)

—特別講演—

1. 山下裕史朗:発達障害のある子どもたちと楽しさを共有できる診療をめざして 第54回日本理学療法学会大会 2019.11.16(福岡)
2. 永光信一郎:生老病死と心身医学1 子どもの心とからだ —親子の心の診療と思春期— 第2回日本心身医学会合同集会心身医学会 2019.11.17(大阪)(記念企画)

—セミナー—

1. 山下裕史朗:ADHDの包括的治療—コンサータの適正使用について— 第37回日本小児心身医学会学術集会 2019.9.13(広島)(教育セミナー)
2. 弓削康太郎:脊髄性筋萎縮症が変わる —整形外科との連携— 第32回日本臨床整形外科学会 2019.7.15(神戸)(ランチョンセミナー)
3. 弓削康太郎, 八戸由佳子, 山田信一, 山下裕史朗:SMA(脊髄性筋萎縮症)が変わる 第55回中部日本小児科学会学術集会 2019.8.25(富山)(ランチョンセミナー)
4. 山下裕史朗:脊髄性筋萎縮症の早期診断の重要性 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19(金沢)(コーヒープレイクセミナー-座長)
5. 山下裕史朗:保険収載となった遺伝学的検査 —その実践— 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.21(金沢)(モーニング実践講座-座長)

—学会・研究会演題—

-1. 国際学会-

1. Yuge K, Yae Y, Isooka A, Ishii R, Nagamitsu S, Iwama K, Matsumoto N, Matsuishi T, Yamashita Y: A novel USP8 mutation causes Rett syndrome-like phenotypes in a Japanese boy. 15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology (AOCCN 2019). 2019.9.20 (Kuala Lumpur, Malaysia)
2. Isooka A, Yuge K, Yae Y, Takahashi T, Matsuishi T, Yamashita Y: Questionnaire survey on fractures in patients with Rett syndrome. 15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology (AOCCN 2019). 2019.9.20 (Kuala Lumpur, Malaysia)
3. Yae Y, Yuge K, Isooka A, Suda M, Ishii R, Ohya T, Nagamitsu S, Hashizume N, Yoshida M, Yagi M, Yamashita Y: Bioelectrical impedance analysis is a good method of treatment efficacy on spinal muscular atrophy: A pilot study. 15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology (AOCCN 2019). 2019.9.20 (Kuala Lumpur, Malaysia)

-国内学会-

1. 八戸由佳子, 弓削康太郎, 石井隆大, 須田正勇, 永光信一郎, 本田涼子, 小野智慧, 山下裕史朗:

てんかん発症から一か月半で焦点切除術を行なった4か月女児. 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19 (金沢)

2. 弓削康太郎, デヴェロー斎恵, 飛田公理, 山下裕史朗: 粗大運動機能に制限がある進行 SMA 患者に対するヌシネルセンの有効性評価方法の検討. 第61回日本小児神経学会学術集会 2019.5.31 (名古屋)
3. 八戸由佳子, 弓削康太郎, 石井隆大, 永光信一郎, 山下裕史朗: 当院での perampanel の使用経験. 第61回日本小児神経学会学術集会 2019.5.31 (名古屋)
4. 山川祐輝, 弓削康太郎, 八戸由佳子, 石井隆大, 磯岡藍子, 須田正勇, 大矢崇志, 家村明子, 永光信一郎, 山下裕史朗: Coffin-Siris syndrome (CSS) の11歳男児例. 第87回日本小児科学会九州地方会 2019.8.4 (大分)
5. 永光信一郎, 松岡美智子, 千葉比呂美, 石井隆大, 岡田あゆみ, 小柳憲司, 山崎知克, 村上佳津美, 山下裕史朗: 親子の心の診療マップ (女性版・子ども版・親版) の作成—「気づき」と「つなぐ」—. 第37回日本小児心身医学会学術集会 2019.9.13 (広島)

- 研究会・学会地方会 -

1. 八戸由佳子, 弓削康太郎, 石井隆大, 磯岡藍子, 須田正勇, 七種朋子, 岡部留美子, 大矢崇志, 家村明子, 永光信一郎, 山下裕史朗: てんかんで発症し手足の震えを呈した Unverricht-Lundborg 病の1例. 第86回日本小児科学会九州地方会 2019.1.13 (長崎)
2. 石井隆大, 永光信一郎, 石井潤, 坂口廣高, 水落建輝, 山下裕史朗: 治療経過中に門脈ガス血症を来した摂食障害の2例. 第506回日本小児科学会福岡地方会例会 2019.10.12 (福岡)

- その他 -

1. 八戸由佳子. 小児の発作時脳波. 第1回久留米てんかんカンファレンス 2019.2.6 (久留米)
2. 永光信一郎. 親子の心の診療マップ—多職種連携を目指して— 50回北九州子どものこころ懇話会 2019.5.10 (北九州)
3. 永光信一郎. 不登校児童・生徒の対応の支援. 三潞郡学校保健会研修会 2019.6.12 (福岡)
4. 永光信一郎. 思春期の子どもの特長と問題: より良い対応を目指して. 第25回日本医学会公開フォーラム 2019.6.15 (東京)
5. 山下裕史朗. 発達障害のある子どもたちの命の輝きを高める～言語聴覚士との共働. 言語聴覚セミナー 福岡国際医療福祉大学・柳川リハビリテーション学院・国際医療福祉大学主催 2019.7.7 (福岡)
6. 山下裕史朗. ADHD 治療薬の選択: いつ、どの症例に何をを使うのか? 第186回宗像小児科医会講演会 2019.7.23 (福岡)
7. 山下裕史朗. 発達障害と教育. 八女サークルの会小学校管理職クラス研修会 2019.7.24 (福岡)
8. 永光信一郎. 親子の心の診療マップ (女性版・子ども版・親版) ティーンズ健診 令和元年度久留米市思春期意見交換会 2019.7.26 (久留米)
9. 八戸由佳子. 当科におけるカルチニン測定の実態報告. 第9回ちっごの郷てんかんを語る会 2019.9.5 (福岡)
10. 弓削康太郎. AMPA 受容体拮抗薬の使用経験と期待～小児神経医の立場から～. 九州小児てんかんクロストークインターネットライブセミナー 2019.9.10 (久留米)
11. 弓削康太郎. 小児てんかんの包括的診療—課題と展望—. 第二回久留米てんかんカンファレンス 2019.10.2 (久留米)
12. 弓削康太郎, 八戸由佳子, 山田信一, 山下裕史朗. SMA (脊髄性筋萎縮症) が変わる. 千葉県小児 SMA フォーラム 2019.10.4 (千葉)
13. 永光信一郎. 児童虐待の現状と予防への取り組みについて 小児科医の立場から 10ポイントレッスン 令和元年度第1回『筑後かかりつけ医・産業医と精神科医師連携研修』 2019.10.15 (久留米)
14. 弓削康太郎, 八戸由佳子, 磯岡藍子, 七種朋子, 原宗嗣, 高橋知之, 山下裕史朗, 松石豊次郎. 現状と展望. さくらんぼ会秋合宿 2019.10.20 (熊本)
15. 永光信一郎. 合併症・副作用に着目した ADHD 薬物治療 (チックなど). ADHD Symposium 2019 in Kobe 2019.11.10 (神戸)
16. 弓削康太郎, 八戸由佳子, 山田信一, 山下裕史朗. SMA における最新治療とその効果について～スピラザによる治療の実際、および新薬に関する情報. SMA 家族の会・九州定例会 in 福岡～からだ相談会～ 2019.11.16 (福岡)
17. 弓削康太郎. 久留米大学における TSC の取り組み～小児神経医の期待. Novartis TSC web Seminar 2019.12.2 (福岡)
18. 永光信一郎. 思春期のヘルスプロモーション～誰が、いつ、何をどのように関わるか?～. 令和元年度 (第66回) 福岡県小児保健研究会・母子保健関係者研修会 2019.12.7 (久留米)
19. 永光信一郎. 子どもの心の問題 小児精神神経疾患と心身症. 産業医科大学医学部講義 成長と発達 1

(小児科学) 2019.12.10 (折尾)

20. 永光信一郎. 思春期のヘルスプロモーション ～小児科医による思春期健診の社会実装化を目指して～. 山口県小児科医会学術講演会 2019.12.15 (山口)

-記念誌、新聞、テレビ、ラジオ-

1. 山下裕史朗. 祝辞 柳川療育センター 20 周年記念誌 2019.4 刊行
2. 山下裕史朗. 発達障害の考え方、基本的対応法と子育てレジリエンス ハッピーママくらぶ 2019.6
3. 山下裕史朗. 子どもの育て方を教えてもらったことがありますか? ハッピーママくらぶ 2019.7
4. 山下裕史朗. 役割を増す「言語聴覚士」とは 西日本新聞 2019.7.17
5. 山下裕史朗. 『福岡 NEWS ファイル CUBE』TNC 7/13 (土) AM10:25 ~
6. 山下裕史朗. クルメ版ネウボラ 妊娠・出産から思春期まで切れ目のない子育て支援を実現しましょう ハッピーママクラブ 2019.8
7. 山下裕史朗. ADHD くるめサマートリートメントプログラム (STP) 15 年のあゆみ (前半) ハッピーママクラブ 2019.9
8. 山下裕史朗. ADHD とくるめ STP. 「小児科診療 UP-to-DATE」ラジオ NIKKEI 毎週火曜 23:15 ~ 23:30 2019.9.24 オンエア
9. 山下裕史朗. ADHD くるめサマートリートメントプログラム (STP) 15 年のあゆみ (後半) ハッピーママクラブ 2019.10
10. 山下裕史朗. 神経発達症:お薬の話 パート1 ハッピーママクラブ 2019.11
11. 山下裕史朗. 行動療法を取り入れた ADHD の治療を実践. 九州医事新報社 2019.11.20 発行
12. 山下裕史朗. 神経発達症:お薬の話 パート2 ハッピーママクラブ 2019.12

—研究費・受賞—

1. 山下裕史朗. 文部科学省研究費 基盤研究 (C) (継続) 「唾液コルチゾール・MHPG は神経発達症診断・治療評価に有用か?」104 万円 (代表)
2. 山下裕史朗. 精神・神経疾患研究開発費 (継続) (主任研究者 一戸紀孝) 「発達障害の治療法の確立をめざすトランスレーショナルリサーチ」90 万円 (分担)
3. 山下裕史朗. 理化学研究所共同研究プロジェクト (継続) (主任研究者 桜田一洋) 「生体リズムに着目した発達障害の解析」300 万円 (分担)
4. 永光信一郎. 日本医療研究開発費 (AMED)(継続) 成育疾患克服等総合研究事業 (主任研究者 永光信一郎) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」450 万円 (代表)
5. 永光信一郎. 厚生労働省科学研究費 (継続) 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (主任研究者 永光信一郎) 「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」692 万円 (代表)
6. 永光信一郎. 厚生労働省科学研究費 (新規) 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (主任研究者 山縣然太郎) 「母子保健情報を活用した「健やか親子 21(第 2 次)」の推進に向けた研究 (19 D A 0301)」70 万円 (分担)
7. 永光信一郎. 厚生労働省科学研究費 (継続) 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (主任研究者 岡明) 「身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」100 万円 (分担)
8. 永光信一郎. 文部科学省研究費 基盤研究 (C) (新規) 「アクティブラーニングによる親子コミュニケーション促進アプリの開発」120 万円 (代表)
9. 永光信一郎. エーザイ株式会社 医学・薬学に関する研究活動への奨学寄付金 50 万円 (代表)
10. 弓削康太郎. 文部科学省研究費 基盤研究 (若手) (継続) 「レット症候群のグレリン投与による治療メカニズムの解明」157 万円 (代表)
11. 石井隆大. 文部科学省研究費 基盤研究 (若手) (継続) 「ICT を活用した小児睡眠障害への予防介入・認知行動療法の開発」226 万 (代表)

—優秀推薦演題—

1. 永光信一郎, 岡田あゆみ, 小柳憲司, 山崎知克, 村上佳津美. 小児特定疾患カウンセリング料の適応拡大に向けた実態調査 (秋のアンケート). 第 37 回日本小児心身医学会学術集会 2019.9.14 (広島)

—班会議—

1. 永光信一郎, 堀越勝, 伊藤正哉, 蟹江絢子, 片山崇, 牧田潔, 中嶋愛一郎, 岡琢哉, 牧田潔. 平成 31 年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」思春期アプリ会議. 2019.4.17 (東京)

2. 永光信一郎, 作田亮一, 阪下和美, 岡田あゆみ, 重安良恵. 平成 31 年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」永光班個別班会議 2019.4.20-21 (金沢)
3. 永光信一郎. 平成 31 年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「母子保健情報を活用した「健やか親子 21(第 2 次)」の推進に向けた研究」に関する情報共有・勉強会 今年度の山縣班に関する日帰り合宿 2019.5.21 (東京)
4. 永光信一郎, 酒井さやか. 平成 31 年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「母子保健情報を活用した「健やか親子 21(第 2 次)」の推進に向けた研究」第 1 回山縣班班会議 2019.6.7 (東京)
5. 永光信一郎, 堀越勝, 片岡弥恵子, 関口進一郎, 道端伸明, 川名敬, 内山有子, 千先園子, 尾川春香. 平成 31 年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」永光班班会議 2019.5.28 (東京)
6. 永光信一郎, 岡田あゆみ, 片柳章子, 阪下和美, 作田亮一, 松浦賢長, 北島翼, 大谷良子. 平成 31 年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」CBT アプリ講習会 2019.5.30 (東京)
7. 永光信一郎. 平成 31 年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」第 1 回永光班班会議 2019.6.3 (東京)
8. 永光信一郎. 平成 31 年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」第 1 回 PSPO 会議 2019.6.18 (東京)
9. 永光信一郎. 平成 31 年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」第 1 回岡班班会議 2019.6.16 (東京)
10. 永光信一郎, 堀越勝. 平成 31 年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」個別班会議 2019.7.20(土) (熊本)
11. 永光信一郎, 堀越勝, 片山崇. 令和元年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」むぎまる 2020 プロジェクト 2019.10.18 (東京)
12. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」第 2 回岡班班会議 2019.11.4 (東京)
13. 永光信一郎. 令和元年度日本医療研究開発費 (AMED) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」第 2 回 PSPO 合同会議 2019.11.26 (東京)
14. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」岡班個別班会議 2019.12.5 (久留米)
15. 山下裕史朗. 精神・神経疾患研究開発費 「発達障害の治療法の確立をめざすトランスレーショナルリサーチ」一戸班会議 2019.12.15 (東京)
16. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費 (成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業) 「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」永光班個別班会議 2019.12.26 (東京)

循環器

－原著論文－

1. Takase R, Hino S, Anan K, Kohroggi K, Araki H, Hino Y, Sakamoto A, Nicholson TB, Chen T, Nakao M. Lysine-specific demethylase-2 is distinctively involved in brown and beige adipogenic differentiation. *FASEB J.* 2019;33(4):5300-11
2. 芳本潤, 犬塚亮, 松井彦郎, 金成海, 宮田裕章, 須田憲治, 杉山央, 富田英, 矢崎論, 小林俊樹, 大月審一. 2017 年における先天性心疾患および小児期頻拍性不整脈に対するカテーテルインターベンション・アブレーション全国集計～日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会データベース (JPIC-DB) からの年次報告～. *Journal of JPIC* 2018 ; 3 (2) : 43-55
3. Mitani Y, Tsuda E, Kato H, Higaki T, Fujiwara M, Ogawa S, Satoh F, Nakamura Y, Takahashi K, Ayusawa M, Kobayashi T, Ichida F, Matsushima M, Kamada M, Suda K, et al. Emergence and Characterization of Acute Coronary Syndrome in Adults After Confirmed or Missed History of Kawasaki Disease in Japan: A Japanese Nationwide Survey. *Front Pediatr.* 2019;9(7):275

4. Kagiya Y, Yatsuga S, Kinoshita M, Koteda Y, Kishimoto S, Koga Y, Suda K. Growth Differentiation Factor 15 as a useful biomarker of heart failure in young patients with unrepaired congenital heart disease of left to right shunt. J Cardiol. (in press 2019)
5. Yuko Kato, Tsugutoshi Suzuki, Yoko Yoshida, Noriyasu Ozaki, Shintaro Kishimoto, Hisaaki Aoki, Shuichiro Yoshida, Shigeo Watanabe, Yoshihide Nakamura. Catheter ablation in children and patients with congenital heart disease; Review of 1021 procedures at a high – volume single center in Japan. Heart Rhythm. 2019;17(1):49-55

—著書・総説—

1. 籠手田雄介, 須田憲治. 胎児循環から出生後の循環, 先天性心疾患の種類と循環動態. 小児看護 2019 ; 42 (3) : 778-83
2. 鮎沢衛, 阿部淳, 伊藤秀一, 加藤太一, 鎌田政博, 小林徹, 塩野淳子, 鈴木啓之, 須田憲治, 土屋恵司, 中村常之, 中村好一, 野村裕一, 濱田洋通, 深澤隆治, 古野憲司, 松裏裕行, 松原知代, 三浦大. 川崎病学会 川崎病の診断手引き改定委員会. 川崎病診断の手引き 第6版
3. 安河内聡, 鮎沢 衛, 伊藤秀一, 岩崎達雄, 岩本眞理, 小山耕太郎, 坂本喜三郎, 白石 公, 須田憲治, 住友直方, 先崎秀明, 瀧間浄宏, 建部俊介, 土井庄三郎, 土橋一重, 豊島勝昭, 中川雅生, 福嶋教偉, 堀米仁志, 前田美穂, 三浦大, 山岸敬幸, 山岸正明, 与田仁志 先天性心疾患並びに小児期心疾患の診断検査と薬物療法ガイドライン (2018年改訂版) 日本循環器学会ガイドライン http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2018_Yasukochi.pdf Web ページ公開のみ

—症例報告—

1. 津田恵太郎, 岸本慎太郎, 鍵山慶之, 吉本裕良, 工藤嘉公, 山下裕史朗, 須田憲治. 急性期川崎病診療のピットフォール～左冠動脈動脈起始症～. 日本小児循環器学会雑誌 2019;35(1):38-42
2. Bekki M, Tahara A, Honda A, Igata S, Sugiyama Y, Nakamura T, Sun J, Kurata S, Fujimoto K, Abe T, Tanaka H, Suda K, Fukumoto Y. Anti-inflammatory effect of statin in coronary aneurysms late after Kawasaki disease. J Nucl Cardiol. 2019;26(2):671-3

—特別講演・シンポジウム・パネルディスカッション—

- 1. 国際学会 -
 1. Kenji Suda. Arrhythmias after ASD closure : genetic or device-related or both? The 8th Vietnam Congress of Congenital and Structural Heart Disease. 2019/1/10 (Vietnam)
- 2. 国内学会 -
 1. 前田靖人, 井上忠, 桑原浩徳, 鍵山慶之, 高瀬隆太, 吉本裕良, 寺町陽三, 籠手田雄介, 家村素史, 須田憲治. 当院における、Native CoA に対する経皮的動脈ステント留置術の報告. 第30回日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会 シンポジウム 2019/1/26 (埼玉)
 2. 加藤太一, 小林徹, 鮎沢衛, 深澤隆治, 布施茂登, 廣野恵一, 三谷義英, 須田憲治, 前田潤, 三浦大. 川崎病における冠動脈瘤内径の Z core に基づいた退縮の解析～ZSP2 study サブ解析～. 第55回日本小児循環器学会総会・学術集会. 会長賞選別講演 2019/6/279 (北海道)
 3. 須田憲治. 心房中隔欠損症. 第5回 ACHD セッション 第127回日本循環器学会九州地方会. 2019/12/7 (久留米)
- 3. その他 -
 1. 吉本裕良. 動脈管開存症の Device のサイズ選択における心腔内エコーと造影の比較. 循研合同カンファレンス. 2019/3/7 (久留米)
 2. 須田憲治. 第1回基礎編の復習. Echo 九州 2019.2019/4/7 (福岡)
 3. 須田憲治. 川崎病 冠状動脈奇形. Echo 九州 2019. 2019/4/7 (福岡)
 4. 籠手田雄介. AVSD 房室中隔欠損症. Echo 九州 2019. 2019/4/7 (福岡)
 5. 須田憲治. 小児科領域心エコーピットフォール. 第11回エコー48. 2019/7/2 (久留米)
 6. 須田憲治. 成人先天性心疾患の現状と今後. 久留米内科医会・久留米小児科医会合同学術講演会. 2019/7/2 (久留米)

—学会・研究会発表—

- 1. 国際学会 -
 1. Suda k, Tahara N, Nakamura T, Bekki M, Kagiya Y, Yoshimoto H, Iemura M, Fukumoto Y. Ongoing coronary inflammation in patients with persistent coronary artery aneurysms caused by Kawasaki Disease. ACC 2019/3/16 (ニューオリンズ)

-2. 国内学会・研究会 -

1. 吉本裕良, 須田憲治, 前田靖人, 鎌山慶之, 籠手田雄介, 家村素史, 山下裕史朗, 安永弘. VSD 加療中にブドウ球菌による感染性心内膜炎による valsalva 洞, 右室穿孔を認めた 1 例. 第 112 回日本小児科学会学術集会. 2019/1/19 (金沢)
2. 桑原浩徳, 前田靖人, 高瀬隆太, 吉本裕良, 籠手田雄介, 須田憲治. 大動脈縮窄に対する Pressure wire を併用し 3Fr TMP PED バルーンにてバルーン拡大術をおこなった 3 症例. 第 30 回日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会. 2019/1/24 (埼玉)
3. 家村素史, 鎌山慶之, 吉本裕良, 須田憲治. 破断した 3.3Fr Pigtail catheter の回収とその要因についての検討. 第 30 回日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会. 2019/1/24 (埼玉)
4. 高瀬隆太, 籠手田雄介, 前田靖人, 桑原浩徳, 鎌山慶之, 吉本裕良, 木下正啓, 久木山智子, 田上秀一, 小金丸雅道, 前野泰樹, 須田憲治. 胎児期より心不全徴候を来した巨大肝血管腫に対し、臍動脈経由での血管塞栓術が急性期管理に有効であった 1 例. 第 30 回日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会. 2019/1/24 (埼玉)
5. 鎌山慶之, 家村素史, 大江健介, 田代英樹, 須田憲治. Platypnea-Orthodeoxia 症候群に対するカテーテル治療—治療後のデバイス透視から推測する血流方向—. 第 30 回日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会. 2019/1/24 (埼玉)
6. 前田靖人, 井上忠, 桑原浩徳, 鎌山慶之, 高瀬隆太, 吉本裕良, 籠手田雄介, 須田憲治. 低年齢の児に対する橈骨動脈穿刺による選択的冠動脈造影. 第 30 回日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会. 2019/1/25 (埼玉)
7. 吉本裕良, 前野泰樹, 寺町陽三, 廣瀬彰子. 右側大動脈弓における血管輪と気管圧迫の出生前評価方法. 第 24 回日本胎児心臓病学会 2019/2/15 (大阪)
8. 須田憲治, 田原宣広, 吉本裕良, 籠手田雄介, 福本義弘, 山下裕史朗. 川崎病遠隔期の慢性冠動脈炎—FDG-PET による評価—. 第 122 回小児科学会学術集会. 2019/4/19 (金沢)
9. 籠手田雄介, 吉本裕良, 高瀬隆太, 前田靖人, 桑原浩徳, 井上忠, 須田憲治. 当院における、低体重児に対する経皮的心房中隔欠損閉鎖術の報告. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019/4/19 (金沢)
10. 前野泰樹, 広瀬彰子, 前田靖人, 吉本裕良, 籠手田雄介, 岸本慎太郎, 須田憲治. 母体抗 SSA 抗体による完全房室ブロックに対する体内治療 (母体ステロイド投与) が新生児の副腎機能におよぼす影響と管理法. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/27 (北海道)
11. 桑原浩徳, 井上忠, 前田靖人, 高瀬隆太, 吉本裕良, 籠手田雄介, 須田憲治. 当院で経験した心嚢液貯留を伴う血液腫瘍疾患症例の検討. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/27 (北海道)
12. 井上忠, 籠手田雄介, 吉本裕良, 高瀬隆太, 前田靖人, 桑原浩徳, 庄嶋賢弘, 財満康之, 須田憲治. 経皮的心房中隔欠損症閉鎖術後の 1 度房室ブロックの臨床的経過の検討. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/27 (北海道)
13. 鎌山慶之, 家村素史, 須田憲治. 心房中隔欠損症のカテーテル治療における心房中隔の傾斜が及ぼす影響: 主観と客観. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/27 (北海道)
14. 高瀬隆太, 籠手田雄介, 井上忠, 前田靖人, 桑原浩徳, 吉本裕良, 財満康之, 庄嶋賢弘, 田中啓之, 須田憲治. ICE 単独ガイドによる TEE 未施行での経皮的心房中隔欠損閉鎖術の報告. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/27 (北海道)
15. 前田靖人, 高瀬隆太, 井上忠, 桑原浩徳, 鎌山慶之, 吉本裕良, 籠手田雄介, 須田憲治. 導出右側胸部誘導心電図を用いた肺高血圧症検出の有用性. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/27 (北海道)
16. 津田恵太郎, 鎌山慶之, 吉本裕良, 籠手田雄介, 安永弘, 家村素史, 須田憲治. 広範囲の心臓壁融解を来したブドウ球菌による劇症感染症心内膜炎. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/28 (北海道)
17. 清松光貴, 鎌山慶之, 籠手田雄介, 家村素史, 須田憲治. Amplatzer Septal occluder 留置後に生じた両側性の冠動脈瘻の長期経過. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/28 (北海道)
18. 家村素史, 鎌山慶之, 須田憲治. 経過観察中に悪性腫瘍を合併した成人先天性心疾患の 3 例. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/29 (北海道)
19. 籠手田雄介, 吉本裕良, 高瀬隆太, 前田靖人, 桑原浩徳, 井上忠, 庄嶋賢弘, 財満康之, 須田憲治. 経皮的心房中隔欠損症閉鎖術後に体重増加を得られた症例の検討. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/29 (北海道)
20. 前田靖人, 井上忠, 桑原浩徳, 鎌山慶之, 高瀬隆太, 吉本裕良, 籠手田雄介, 須田憲治. 低年齢の児に対する橈骨動脈穿刺による選択的冠動脈造影. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/29 (北海道)
21. 大武瑞樹, 籠手田雄介, 吉本裕良, 高瀬隆太, 前田靖人, 桑原浩徳, 井上忠, 庄嶋賢弘, 財満康之, 須田憲治. 左心室に流入する無冠尖のバルサルバ洞動脈瘤破裂の 1 例. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/29 (北海道)

22. 井手水紀, 鍵山慶之, 井上忠, 家村素史, 須田憲治. 冠攣縮性狭心症を合併した Duchenne 型筋ジストロフィーの 1 例. 第 55 回日本小児循環器学会総会・学術集会. 2019/6/30 (北海道)
23. 勝部康弘, 今中恭子, 武田充人, 阿部淳, 小林徹, 益田博司, 大熊喜彰, 深澤隆治, 高月晋一, 加藤太一, 三谷義英, 廣野恵一, 池田和幸, 吉兼由佳子, 須田憲治, 永田弾. バイオマーカーによる川崎病初回治療不応予測—川崎病バイオマーカー小委員会報告—. 第 39 回日本川崎病学会・学術集会. 2019/10/25 (東京)
24. 高瀬隆太, 岸本慎太郎, 前田靖人, 桑原浩徳, 鍵山慶之, 籠手田雄介, 須田憲治. 初回 IVIG 不応に対する IVIG 再投与とステロイドパルスの併用療法の検討. 第 39 回日本川崎病学会・学術集会. 2019/10/25 (東京)
25. 岩島寛, 小林徹, 鮎澤衛, 深澤隆治, 廣野恵一, 加藤太一, 三谷義英, 須田憲治, 前田潤, 金子徹治, 三浦大. 川崎病における冠動脈瘤退縮に関連する冠動脈瘤内径と Z score の cut-off 値の解析～ ZSP2 study サブ解析～. 第 39 回日本川崎病学会・学術集会. 2019/10/25 (東京)

新生児

—論文—

1. Miyoshi T, Maeno Y, Hamasaki T, Inamura N, Yasukouchi S, Kawataki M, Horigome H, Yoda H, Taketazu M, Nii M, Hagiwara A, Kato H, Shimizu W, Shiraishi I, Sakaguchi H, Ueda K, Katsuragi S, Yamamoto H, Sago H, Ikeda T. Antenatal antiarrhythmic treatment for fetal tachyarrhythmias: a prospective multicenter trial. *J Am Coll Cardiol*. 2019; 74: 874-85.
2. Harada E, Kinoshita M, Iwata S, Saikusa M, Tsuda K, Shindou R, Sahashi T, Kato S, Yamada Y, Saitoh S, Iwata O. Visual function scale for identification of infants with low respiratory compliance. *Pediatr Neonatol* 2019; 60: 611-6.
3. Iwata S, Kinoshita M, Fujita F, Tsuda K, Unno M, Horinouchi T, Morokuma S, Saitoh S, Iwata O. Peripartum depression and infant care, sleep and growth. *Sci Rep* 2019; 9: 10186.
4. Iwata S, Kinoshita M, Okamura H, Tsuda K, Saikusa M, Harada E, Saitoh S, Iwata O. Intrauterine growth and the maturation process of adrenal function. *Peer J* 2019; 7: e6368.
5. Kagiya Y, Yatsuga S, Kinoshita M, Koteda Y, Kishimoto S, Koga Y, Suda K. Growth differentiation factor 15 as a useful biomarker of heart failure in young patients with unrepaired congenital heart disease of left to right shunt. *J Cardiol*. 2019; (Epub).
6. 前野泰樹：総説；胎児心不全：不整脈の重症度をどう評価する。小児循環器学会雑誌 2019; 34: 221-7.

—著書—

1. 木下正啓, 前野泰樹：日齢 1～3 くらいまでのケア。メディカ出版 With NEO 2019; 32 (2): 208-18.

—講演・シンポジウム・セミナー—

1. Maeno Y. What is the role of the cardiologist during the prenatal period; regional practices. “Fetal diagnosis of cardiac diseases in Japan; Current practice and future perspective.” Women's Health Ultrasound Fetal Heart Focus Group. 2019.8.30-31 (Zirf, Austria)
2. 前野泰樹：教育セミナー：両大血管右室起始症の周産期管理。第 25 回日本胎児心臓病学会学術集会 2019.2.15-16 (大阪)
3. 前野泰樹：The fetus as a Patient: 胎児期にみられる不整脈へのアプローチ。岡山心臓血管研究会 2019.4.24 (岡山)
4. 前野泰樹：母体抗 SS-A 抗体関連胎児心疾患のステロイド治療：積極的使用の立場から。シンポジウム、胎児徐脈性不整脈の胎児治療とハイリスク症例への対応。第 55 回日本小児循環器学会学術集会 2019.6.27-29 (札幌)
5. 前野泰樹：新生児病棟の現状と退院時への支援。福岡県小児在宅医療推進事業第一回小児在宅研修会 2019.7.27 (久留米)
6. 木下正啓；シンポジウム新生児医療と遠隔診療, 第 75 回九州新生児研究会 2019.9.28 (原鶴)
7. 海野光昭；シンポジウム『新生児医療と遠隔診療』：周産期遠隔医療のこれから、一赤ちゃんと家族の未来に、我々は何ができるか？— 第 75 回九州新生児研究会 2019.9.28 (原鶴)
8. 木下正啓：スマートフォンを用いたビデオ通話による新生児遠隔診療—新生児の遠隔診療と情報通信技術— 第 23 回日本遠隔医療学会学術大会 2019.10.5 -6 (盛岡)
9. 前野泰樹：先天性心疾患の発生と異常のスクリーニング。第 21 回日本イアトナルド超音波講座 2019.10.25-26 (名護)
10. 前野泰樹：教育講演；胎児・新生児の不整脈。第 64 回日本新生児成育医学会学術集会 2019.11.26-28 (鹿児島)

11. 前野泰樹：教育講演；胎児不整脈治療の最前線. 第17回胎児治療学会学術集会 2019.12.7-8 (岸和田)
12. 前野泰樹：上室性頻拍の診断と管理. 日本胎児心臓病学会第4回レベルII胎児心エコー講習会 2019.12.15 (東京)

—学会発表—

1. Maeno Y, Teramachi Y, Hirose A, Kozuma Y, Horinouchi T, Suda K: Novel screening method of fetal premature contraction evaluated from simple arterial Doppler flow image. 29th World Congress on Ultrasound in Obstetrics and Gynecology. 2019.10.12-16. (Berlin)
2. 木下正啓, 福井香織, 渡邊順子, 三嶋博之, 木下晃, 吉浦孝一郎; 全エキソーム解析によりKAT6A変異を同定した精神遅滞の一例; 第41回日本小児遺伝学会学術集会 2019.1.11-12 (名古屋)
3. 三好剛一, 稲村昇, 安河内聰, 川滝元良, 堀米仁志, 与田仁志, 竹田津未生, 生水真紀夫, 新居正基, 萩原聡子, 賀藤均, 坂口平馬, 白石公, 上田恵子, 桂木真司, 濱崎俊光, 山本晴子, 左合治彦, 前野泰樹, 池田智明: 胎児頻脈性不整脈に対する経胎盤的抗不整脈薬投与に関する臨床試験—多施設共同試験—. 第25回日本胎児心臓病学会学術集会 2019.2.15-16 (大阪)
4. 吉本裕良, 前野泰樹, 寺町陽三, 廣瀬彰子: 右側大動脈弓における血管輪と気管圧迫の出生前評価方法. 第25回日本胎児心臓病学会学術集会 2019.2.15-16 (大阪)
5. 緑川浩子, 原田英明, 木下正啓, 進藤亮太, 七種護, 原直子, 嶽間沢昌史, 山下裕史朗; 視覚的な呼吸スコアリングによる低肺コンプライアンスの予測; 第504回日本小児科学会福岡地方会例会 2019.4.13 (福岡)
6. 前野泰樹, 廣瀬彰子, 前田靖人, 吉本裕良, 籠手田雄介, 岸本慎太郎, 須田憲治: 経母体的ステロイド投与による胎内治療を受けた抗SSA抗体に起因する完全房室ブロック新生児の副腎機能不全. 第55回日本小児循環器学会 2019.6.27-29 (札幌)
7. 前野泰樹, 廣瀬彰子, 進藤亮太, 七種護, 木下正啓, 海野光昭, 上妻友隆: 経母体的ステロイド投与による胎内治療を受けた抗SSA抗体に起因する完全房室ブロック新生児の副腎機能不全. 第55回日本周産期・新生児医学会学術集会 2019.7.13-15 (松本)
8. 石松真人, 清水隆宏, 前野泰樹, 木下正啓, 横峯正人, 吉里俊幸, 牛嶋公生: 経胎盤的抗不整脈薬投与を行い胎児頻脈性不整脈が改善した一例. 第55回日本周産期・新生児医学会学術集会 2019.7.13-15 (松本)
9. 山川祐輝, 木下正啓, 進藤亮太, 七種護, 嶽間沢昌史, 緑川浩子, 原直子, 屋宮清仁, 田中悠平, 後藤憲志, 山下裕史朗: コクサッキーウイルスB4による血球貪食症候群を発症し予後の異なった一絨毛膜二羊膜双胎例; 第506回日本小児科学会福岡地方会例会 2019.10.12 (福岡)
10. 木下正啓, 七種護, 進藤亮太, 緑川浩子, 嶽間沢昌史, 原直子, 津田兼之介, 岩田幸子, 岩田欧介: 新生児期のGrowth differentiation factor 15の推移; 第64回日本新生児成育医学会・学術集会 2019.11.27-29 (鹿児島)
11. 七種護, 嶽間沢昌史, 緑川浩子, 進藤亮太, 原直子, 木下正啓: 胎児の大腿骨長短縮を指摘され, 幼児期に2型コラーゲン異常症の診断に至った1例 第64回日本新生児成育医学会・学術集会 2019.11.27-29 (鹿児島)
12. 進藤亮太, 木下正啓, 七種護, 嶽間沢昌史: 異なる経過をたどったコクサッキーウイルスB4による血球貪食症候群の一絨毛膜二羊膜双胎例; 第64回日本新生児成育医学会・学術集会 2019.11.27-29 (鹿児島)

—研究費・受賞—

1. 木下正啓: 文部科学省科学研究費「内分泌マーカーによる新生児サーカディアンリズム形成過程の解析」若手研究(B) 平成29-31年
2. 七種護: 文部科学省科学研究費「高精度超音波検査による脳微細損傷の診断確率」若手研究(B) 平成29-31年
3. 木下正啓: 研究開発分担者 日本医療研究開発機構(AMED)成育疾患克服等総合研究事業「新生児低酸素性虚血性脳症の生物マーカーの実用化に向けた臨床研究」

—研究費・受賞—

1. 前野泰樹: 第75回九州新生児研究会 主催 代表幹事 2019.9.28 (原鶴)

血液

—論文—

1. Soejima T, Sato I, Takita J, Ozono S, et al. Do childhood cancer and physical late effects increase worries about future employment in adulthood? *Cancer Rep.* 2019 Mar 6. Doi: 10.1002/cnr.2.11753)
2. Ozono S, Nagamitsu SI, Matsuishi T, Yamashita Y, et al. Reliability and Validity of the Children's Depression Inventory

Japanese Version. *Pediatr Int.* 61(11):1159-1167, 2019. doi: 10.1111/ped.13984.

3. 越智悠一, 大園秀一, 大石早織, 中川慎一郎, 他. 肝移植後9年目に慢性骨髄性白血病を発症したメチルマロン酸血症の1例. *小児科臨床* 72巻6号:P791-794, 2019
4. 北城恵史郎, 大園秀一, 大石早織, 満尾美穂, 他. 小児血液・腫瘍疾患経験者における腎合併症の縦断的研究〜集学的治療の影響〜. *日本小児腎臓病学会雑誌*. 第32巻2号;1-7,2019
5. 平田衣乃, 大園秀一, 高瀬隆太, 前田靖人, 他. 巨大冠動脈瘤を合併した川崎病として発症した慢性活動性EBV感染症の1例. *小児科臨床* (印刷中)
6. 齊木玲央, 松尾陽子. 背面の皮下血腫により発症したビタミンK欠乏症を合併した重症血友病Aの新生児症例. *日本産婦人科・新生児血液学会誌* 29巻1号:p3-4, 2019

—講演・シンポジウム—

(国内講演)

1. 大園秀一. 慢性疾患児における思春期特有の課題と解決法 ～小児がんを中心に～. 子どもを地域で支える会筑豊: 2019年11月19日(飯塚市)
2. 大園秀一. Dr.BUNBUN子ども医学部 がん教育「緩和ケア」: 2019. 11.10 (久留米市)
3. 松尾陽子. 血友病治療の今後のあり方について. 第40回久留米造血器腫瘍研究会. 平成31年2月1日. 久留米
4. 松尾陽子. 久留米大学における血友病診療の実例. 第19回血友病治療懇話会. 平成31年3月2日. 福岡
5. 松尾陽子. 全国のお母さんと確認したい血友病治療. 世界血友病デー公開セミナー2019. 平成31年4月17日. 東京
6. 松尾陽子. 血友病保因者ケアとは. CSLベーリング社内講演会. 令和元年5月16日. 福岡
7. 松尾陽子. 久留米大学におけるオリプロリクス®の投与例, Hemophilia B Expert Meeting. 令和元年5月25日. 福岡
8. 松尾陽子. 小児科領域でのヘムライブラ®の位置付け. 中外製薬社内講演会. 令和元年8月20日. 東京
9. 松尾陽子. 血友病保因者女性の支援に向けて. 全国ヘモフィリアフォーラム2019. 令和元年9月7日. 京都
10. 松尾陽子. 血友病保因者の現状と課題. The 7th Hemophilia meet the expert in Akita. 令和元年9月27日. 秋田

—学会・研究会—

(国内学会)

1. 大園秀一, 永光信一郎, 松石豊次郎, 山下裕史朗. 小児抑うつ尺度(CDI)の標準化研究: 第15回小児心身医学会九州地方会. 2019.3.10 (福岡市)
2. 石本隆浩, 三宅亮輔, 平田衣乃, 三宅淳, 中村美彩, 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 大園秀一, 山下裕史朗. 若年発症のメソトレキセート関連リンパ増殖症の1例: 第48回九州地区小児固形悪性腫瘍研究会. 2019.3.23 (福岡市)
3. 三宅亮輔, 大園秀一, 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 高瀬隆太, 長井孝二郎, 山下裕史朗. 初診時白血球数170万に対して交換輸血が有効であった乳児白血病の1例: 第504回日本小児科学会福岡地方会例会. 2019.4.13 (福岡市)
4. 大園秀一, 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 山下裕史朗, 古賀友紀. アザシチジン投与により部分奏功したPTPN11変異陽性若年性骨髄単球性白血病の2例: 第122回日本小児科学会学術集会. 2019.4.21 (金沢市)
5. 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 大園秀一, 山下裕史朗. 初発時に顔面神経麻痺を合併した成熟B細胞性急性リンパ性白血病: 第122回日本小児科学会学術集会. 2019.4.21 (金沢市)
6. 齊木玲央, 松尾陽子. 背面の皮下血腫により発症したビタミンK欠乏症を合併した重症血友病Aの新生児症例. 第29回日本産婦人科新生児血液学会学術集会. 令和元年6月7日. 名古屋
7. 今井徹朗, 山香修, 杉原学, 長井孝二郎, 大園秀一, 森山智文, 甲斐田祐介, 柴田了, 玻座真 琢磨, 深水圭. メソトレキセート中毒に対し血液透析と血液吸着を施行した18歳男児例. 第64回日本透析医学会学術集会 2019.6.28 (横浜市)
8. 宮崎裕之, 大園秀一, 中川慎一郎, 満尾美穂, 大石早織. 著明な細胞性免疫不全に伴った乳児急性リンパ性白血病の一例: 西日本小児血液免疫腫瘍研究会: 2019.9.22 (那覇市)
9. 中川慎一郎, 大石早織, 満尾美穂, 大園秀一. 移植後再発に対しポナチニブ単剤で分子遺伝学的寛解を得たPh陽性急性リンパ性白血病の男児例: 第61回日本小児血液・がん学会学術集会. 2019. 11.15 (広島市)
10. 島さほ, 大園秀一, 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎. MYB-GATA1融合遺伝子を有する先天性白血病の女児例: 第61回日本小児血液・がん学会学術集会. 2019. 11.15 (広島市)
11. 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 大園秀一. 過去5年間に当科で白血病治療後に骨壊死をきたした2例:

第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会 2019. 11.15 (広島市)

12. 満尾美穂, 大石早織, 中川慎一郎, 松尾陽子, 大園秀一. 寛解導入療法中に深在性真菌感染症を発症し IRIS を合併した ALL 女児: 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会. 2019. 11.15 (広島市)
13. 升井大介, 深堀優, 大石早織, 中川慎一郎, 大園秀一, 倉八朋宏, 坂本早季, 東館成希, 橋詰直樹, 七種伸行, 石井信二, 田中芳明, 八木実. 腫瘍破裂をきたした oncologic emergency として対応した卵巣原発の Yolk sac tumor の 1 例. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会. 2019.11.15 (広島市)
14. 青野広子, 松尾陽子, 中村加奈子, 飯野英親. 血友病を有する学童の口腔内環境と口腔保健行動に関する調査. 第 46 回福岡歯科大学学術大会. 令和元年 12 月 15 日. 福岡

—研究班報告—

1. 大園秀一. 造血幹細胞移植を行った若年性骨髄単球性白血病 (JMML) 患者の晩期合併症に関する横断的観察研究: 令和元年度第 1 回 JCCG 血液腫瘍分科会 (JPLSG) 全体会議第 1 日. 2019.6. (名古屋市)
2. 大園秀一. 治療終了後早期の長期フォローアップ手帳普及に向けた実証研究: 令和元年度第 2 回 JCCG 血液腫瘍分科会 (JPLSG) 会議第 1 日. 第 13 回 JCCG 長期フォローアップ委員会. 2019.12.20 (名古屋市)

—その他—

1. 大園秀一. 第 10 回がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会 (地域開催) ファシリテーター 2019.2.9-10 (久留米市)
2. 大園秀一. 厚生労働省委託事業 令和元年度第 1 回 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) ファシリテーター 2019.7.27-28 (東京都)
3. 大園秀一. 厚生労働省委託事業 令和元年度第 2 回 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) ファシリテーター 2019.9.28-29 (神戸市)
4. 大園秀一. 厚生労働省委託事業 令和元年度 3 回 小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会 (LCAS) ファシリテーター 2019.12.14-15 (東京都)

消化器

—論文—

1. Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Abe N, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi KI, Ishihara J, Obara H, Kakuma T, Kurei S, Yamashita Y, Mitsuyama K. Antibodies to Crohn's disease peptide 353 as a diagnostic marker for pediatric Crohn's disease: a prospective multicenter study in Japan. *J Gastroenterol* (in press)
2. Konishi KI, Mizuochi T, Yanagi T, Watanabe Y, Ohkubo K, Ohga S, Maruyama H, Takeuchi I, Sekine Y, Masuda K, Kikuchi N, Yotsumoto Y, Ohtsuka Y, Tanaka H, Kudo T, Noguchi A, Fuwa K, Mushiake S, Ida S, Fujishiro J, Yamashita Y, Taguchi T, Yamamoto K. Clinical Features, Molecular Genetics, and Long-Term Outcome in Congenital Chloride Diarrhea: A Nationwide Study in Japan. *J Pediatr* 2019;214:151-157.
3. Takaki Y, Mizuochi T, Eda K, Ishihara J, Yamashita Y. Laboratory values in Japanese children with newly diagnosed inflammatory bowel disease. *Pediatr Int* 2019;61:720-725.
4. Takeuchi T. Factors Involved in the Degeneration of Lymphoid Tissue in the Appendix. *Kurume Med J* 2019 Nov 13. doi: 10.2739/kurumemedj.MS654006. [Epub ahead of print]
5. Yasuda R, Mizuochi T, Kitamura M, Migita K, Yamashita Y. Canakinumab eliminates resistant familial Mediterranean fever in a Japanese girl. *Pediatr Int* 2019;61:1173-1174.
6. Konishi KI, Mizuochi T, Takaki Y, Ishihara J, Suda M, Takahashi T, Yamashita Y. Anti-myelin oligodendrocyte glycoprotein antibody-positive optic neuritis in a girl with ulcerative colitis. *J Pediatr Gastroenterol Nutr* 2019;69:e117.
7. Ishihara J, Mizuochi T, Uchida T, Takaki Y, Konishi KI, Joo M, Takahashi Y, Yoshioka S, Kusano H, Sasahara Y, Yamashita Y. Infantile-onset inflammatory bowel disease in a patient with Hermansky-Pudlak syndrome: a case report. *BMC Gastroenterol* 2019;19:9.
8. Yanagi T, Ushijima K, Koga H, Tomomasa T, Tajiri H, Kunisaki R, Isihige T, Yamada H, Arai K, Yoden A, Aomatsu T, Nagata S, Uchida K, Ohtsuka Y, Shimizu T. Tacrolimus for ulcerative colitis in children: a multicenter survey in Japan. *Intest Res* 2019;17:476-485.
9. Ono S, Matsuda J, Watanabe E, Akaike H, Teranishi H, Miyata I, Otomo T, Sadahira Y, Mizuochi T, Kusano H, Kage M, Ueno H, Yoshida K, Shiraiishi Y, Chiba K, Tanaka H, Miyano S, Ogawa S, Hayashi Y, Kanegane H, Ouchi K. Novel neuroblastoma amplified sequence (NBAS) mutations in a Japanese boy with fever-triggered recurrent acute liver failure. *Hum Genome Var* 2019;6:2.
10. Naritaka N, Suzuki M, Takei H, Chen HL, Oh SH, Kaewplang P, Zhang C, Murai T, Kurosawa T, Kimura A, Shimizu T, Nittono H. Use of dried urine spots for screening of inborn errors of bile acid synthesis. *Pediatr Int* 2019;61:489-494.

11. Masui D, Fukahori S, Mizuochi T, Watanabe Y, Fukui K, Ishii S, Saikusa N, Hashizume N, Higashidate N, Sakamoto S, Takato A, Yoshiura KI, Tanaka Y, Yagi M. Cystic biliary atresia with paucity of bile ducts and gene mutation in KDM6A: a case report. *Surg Case Rep* 2019;5:132.
12. Chen JY, Wu JF, Kimura A, Nittono H, Liou BY, Lee CS, Chen HS, Chiu YC, Ni YH, Peng SS, Lee WT, Tsai IJ, Chang MH, Chen HL. AKR1D1 and CYP7B1 mutations in patients with inborn errors of bile acid metabolism: Possibly underdiagnosed diseases. *Pediatr Neonatol*. 2019 Jul 4. pii: S1875-9572(19)30095-6. doi: 10.1016/j.pedneo.2019.06.009. [Epub ahead of print]
13. Yamasaki H, Kinugasa T, Iwasaki S, Yoshioka S, Mizuochi T, Ishibashi M, Nagatsuka K, Yamauchi R, Ishibashi N, Araki T, Mori A, Akagi Y, Mitsuyama K, Torimura T. Questionnaire Survey from the 1st Kurume University Inflammatory Bowel Disease Center Educational Lecture. *Kurume Med J* 2019;65:109-112.
14. 衣笠哲史, 溝部智亮, 下村晋, 吉田直裕, 水落建輝, 吉岡慎一郎, 大地貴史, 藤田文彦, 磯部太郎, 光山慶一, 赤木由人. 小児クローン病患者の肛門病変に対する外科的アプローチ. *久留米医学会誌* 2019;82:249-256.

—著書・総説—

1. 小西健一郎, 水落建輝. 急性虫垂炎. *小児の救急搬送・医療*. 小児内科増刊号 2019;51:556-559.
2. 坂口廣高. 膵外分泌機能検査 PFD 試験 (BT-PABA 試験). *小児内科* 2019;51:536-537.

—教育講演・シンポジウム—

(国内学会・研究会)

1. 水落建輝. 特別講演. 小児 IBD 診療のピットフォール. 第 19 回筑後 IBD カンファレンス. 2019.1.23 (久留米)
2. 水落建輝. 講演. 小児 IBD を科学する. IBD ワークショップセミナー 2019. 2019.2.22 (久留米)
3. 水落建輝. イブニングセミナー. 新時代に突入した経口剤による小児 C 型肝炎治療～小児 C 型肝炎の今までとこれから～. 第 51 回日本小児感染症学会総会・学術集会. 2019.10.26-27 (旭川)
4. 水落建輝. 特別講演. 新生児胆汁うっ滞症の鑑別法と胆道閉鎖症の早期診断バイオマーカー. 第 46 回日本胆道閉鎖症研究会. 2019.11.30 (広島)

(その他)

1. 小西健一郎. 教育講演. 小児外科の common disease. 福岡小児科医学会学術講演会. 2019.2.27 (福岡)
2. 水落建輝. 教育講演. 小児の便秘と血便のみかた. 熊本県小児科医学会学術講演会. 2019.5.17 (熊本)
3. 水落建輝. 教育講演. 小児消化器肝臓病の最前線～黄疸と血便のみかたから最新治療まで～. 北九州小児科医学会学術講演会. 2019.6.17 (小倉)
4. 水落建輝. e-Learning 講義. 小児 C 型肝炎～本邦の疫学研究と今後の治療展開～. AbbVie 社社員向け e-Learning 講義撮影. 2019.7.18 (久留米)

—学会・研究会演題—

(国際学会)

1. Konishi KI, Mizuochi T, Yanagi T, Watanabe Y, Ohkubo K, Maruyama H, Takeuchi I, Sekine Y, Masuda K, Kikuchi N, Yotsumoto Y, Ohtsuka Y, Tanaka H, Kudo T, Noguchi A, Fuwa K, Mushiaki S, Ida S, Taguchi T, Yamamoto K. Genetic features of congenital chloride diarrhea: a nationwide survey in Japan. The 52nd Annual Meeting of the European Society for Paediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition. 2019.6.5-8 (Glasgow, UK)
2. Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Naoki A, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi KI, Ishihara J, Kurei S, Mitsuyama K. DIAGNOSTIC ACCURACY OF SERUM PROTEINASE 3 ANTINEUTROPHIL CYTOPLASMIC ANTIBODIES FOR PAEDIATRIC PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS: A PROSPECTIVE MULTICENTER STUDY IN JAPAN. 5th International Symposium on Paediatric Inflammatory Bowel Disease. 2019.9.11-14 (Budapest, Hungary)
3. Sakaguchi H, Ishihara J, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Naoki A, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Konishi KI, Mizuochi T. SERUM ZINC AND SELENIUM STATUS IN PAEDIATRIC PATIENTS WITH INFLAMMATORY BOWEL DISEASE: A RETROSPECTIVE MULTICENTER STUDY IN JAPAN. 5th International Symposium on Paediatric Inflammatory Bowel Disease. 2019.9.11-14 (Budapest, Hungary)
4. Ishihara J, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Naoki A, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Sakaguchi H, Konishi KI, Mizuochi T. SERUM ZINC AND SELENIUM STATUS IN PEDIATRIC PATIENTS WITH INFLAMMATORY BOWEL DISEASE: A RETROSPECTIVE MULTICENTER STUDY IN JAPAN. The 6th Meeting of International Society for Zinc Biology. 2019.9.9-13 (Kyoto, Japan)
5. Konishi KI, Mizuochi T, Yanagi T, Watanabe Y, Ohkubo K, Maruyama H, Takeuchi I, Sekine Y, Masuda K, Kikuchi

- N, Yotsumoto Y, Ohtsuka Y, Tanaka H, Kudo T, Noguchi A, Fuwa K, Mushiake S, Ida S, Taguchi T, Yamamoto K. CLINICAL FEATURES, MOLECULAR GENETICS, AND LONG-TERM OUTCOME IN CONGENITAL CHLORIDE DIARRHEA: A NATIONWIDE STUDY IN JAPAN. 2019 North American Society for Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition (NASPGHAN) Annual Meeting. 2019.10.17-19 (Chicago, USA)
6. Ishihara J, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Naoki A, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Sakaguchi H, Konishi KI, Mizuochi T. SERUM ZINC AND SELENIUM STATUS IN PEDIATRIC PATIENTS WITH INFLAMMATORY BOWEL DISEASE: A RETROSPECTIVE MULTICENTER STUDY IN JAPAN. 2019 North American Society for Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition (NASPGHAN) Annual Meeting. 2019.10.17-19 (Chicago, USA)
 7. Mizuochi T, Arai K, Kudo T, Nambu R, Tajiri H, Aomatsu T, Naoki A, Kakiuchi T, Hashimoto K, Sogo T, Takahashi M, Etani Y, Takaki Y, Konishi KI, Ishihara J, Kurei S, Mitsuyama K. DIAGNOSTIC ACCURACY OF SERUM PROTEINASE 3 ANTINEUTROPHIL CYTOPLASMIC ANTIBODIES FOR PAEDIATRIC PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS: A PROSPECTIVE MULTICENTER STUDY IN JAPAN. 2019 North American Society for Pediatric Gastroenterology, Hepatology and Nutrition (NASPGHAN) Annual Meeting. 2019.10.17-19 (Chicago, USA)
 8. Mizuochi T, Takei H, Nittono H, Kimura A. Bile acid synthesis disorders in Japan: a long-term outcome and an efficacy of chenodeoxycholic acid treatment. The Liver Meeting 2019. 2019.11.8-12 (Boston, USA)

(国内学会)

1. 水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 田尻仁. 小児クローン病の診断における血清マーカー ACP353 の有用性: 前方視的多施設研究. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢)
2. 高木祐吾, 水落建輝, 江田慶輔, 小西健一郎, 石原潤, 木下正啓, 入戸野博, 木村昭彦, 山下裕史朗. オキシステロールは小児肝疾患のバイオマーカーとして有用か?. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢)
3. 坂口廣高, 水落建輝, 石原潤, 小西健一郎, 江田慶輔, 高木祐吾, 山下裕史朗. 当院における小児機能性ディスペプシア患者の臨床像. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢)
4. 清松光貴, 水落建輝, 坂口廣高, 石原潤, 小西健一郎, 高木祐吾, 戸川貴夫, 山下裕史朗. 胆道閉鎖症に類似した胆汁うっ滞所見を認めた新生児 Dubin-Johnson 症候群の 1 例. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢)
5. 小西健一郎, 水落建輝, 藤代準, 田口智章. 本邦における先天性クロール下痢症の胎児エコー所見と遺伝子解析. 第 56 回日本小児外科学会学術集会. 2019.5.23-25 (久留米)
6. 趙有季, 磯浦善晴, 山本晃, 水落建輝, 虫明聡太郎, 草野弘宣, 森川浩安, 打田佐和子, 徳原大介. Fontan 術後の肝線維化評価における肝硬度および血液生化学的線維化マーカーの臨床的有用性と限界. 第 55 回日本肝臓学会総会. 2019.5.30-31 (東京)
7. 別所一彦, 水落建輝, 乾あやの, Wei Liu, 大谷哲也, Li Liu, Sandra Lovell, Susan Rhee, 田尻仁. ジェノタイプ 1-6 の日本人小児 C 型肝炎患者に対するグレカプレビル/ピブレンタスビルの薬物動態, 安全性, 有効性: DORA 試験パート 1. 第 55 回日本肝臓学会総会. 2019.5.30-31 (東京)
8. 福岡智哉, 三善陽子, 虻川大樹, 水落建輝, 伊藤孝一, 高野智子, 田尻仁. C 型肝炎小児の母親が抱く心理的負担に対する治療のインパクト: 多施設共同アンケート調査 (中間報告). 第 55 回日本肝臓学会総会. 2019.5.30-31 (東京)
9. 小西健一郎, 水落建輝, 丸山秀彦, 四本由郁, 不破一将, 藤代準, 位田忍, 田口智章. 本邦における先天性クロール下痢症の胎児エコー所見. 第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会. 2019.7.13-15 (長野)
10. 水落建輝, 別所一彦, 乾あやの, Wei Liu, 大谷哲也, Sandra Lovell, Susan Rhee, 田尻仁. ジェノタイプ 1-6 日本人小児 C 型肝炎患者に対するグレカプレビル/ピブレンタスビルの薬物動態, 安全性, 有効性. 第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良)
11. 小西健一郎, 水落建輝, 柳忠宏, 竹内一朗, 工藤孝広, 野口篤子, 虫明聡太郎, 位田忍, 藤代準, 田口智章. 本邦における先天性クロール下痢症の臨床・遺伝子像: 厚労科研事業全国調査. 第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良)
12. 石原潤, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 坂口廣高, 小西健一郎, 水落建輝. 小児炎症性腸疾患における血清亜鉛およびセレン値の検討: 後方視的多施設研究. 第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良)
13. 坂口廣高, 石原潤, 小西健一郎, 水落建輝. 高度便秘症で刺激性下剤使用中に発症した虚血性大腸炎の 1 歳例. 第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良)
14. 安田亮輔, 石原潤, 坂口廣高, 小西健一郎, 江田慶輔, 高木祐吾, 水落建輝. 当院における小児過敏性腸症候群患者の臨床像. 第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良)
15. 津村直弥, 加藤健, 安田亮輔, 坂口廣高, 石原潤, 江田慶輔, 小西健一郎, 高木祐吾, 水落建輝. 当院にお

ける小児機能性ディスぺプシアの臨床像. 第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良)

16. 水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 高木祐吾, 小西健一郎, 石原潤, 樽井俊介, 光山慶一. 小児潰瘍性大腸炎の診断における血清 PR3-ANCA の有用性: 前方視的多施設研究. 第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会. 2019.11.29 (福岡)

(研究会・地方会)

1. 安田亮輔, 阪田健祐, 須田正勇, 横地賢興, 河野剛, 秋田幸大, 大部敬三. 大量の腹水を合併した腸管出血性大腸菌 O157 による溶血性尿毒症症候群の女児例. 第 15 回日本小児消化管感染症研究会. 2019.2.2 (大阪)
2. 水落建輝, 新井勝大, 工藤孝広, 南部隆亮, 田尻仁, 青松友槻, 阿部直紀, 垣内俊彦, 橋本邦生, 十河剛, 高橋美智子, 恵谷ゆり, 高木祐吾, 小西健一郎, 石原潤, 樽井俊介, 小原仁, 角間辰之, 光山慶一. 複数の血清抗体の比較と組み合わせによる小児クローン病診断法の検討: 前方視的多施設研究. 第 19 回日本小児 IBD 研究会. 2019.2.3 (大阪)
3. 石原潤, 坂口廣高, 小西健一郎, 安田亮輔, 江田慶輔, 高木祐吾, 水落建輝. 小児炎症性腸疾患における血清亜鉛およびセレン値の臨床的有用性: a pilot study. 第 19 回日本小児 IBD 研究会. 2019.2.3 (大阪)
4. 津村直弥, 水落建輝, 坂口廣高, 加藤健, 石原潤, 石井隆大, 山下裕史朗. 当院における小児機能性ディスぺプシアの臨床像. 第 503 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2019.2.9 (福岡)
5. 小西健一郎, 水落建輝, 高木祐吾, 坂口廣高, 石原潤, 木下正啓, 橋詰直樹, 八木実, 松浦俊治, 田口智章, 眞田幸弘, 田井中貴久, 内田広夫, 佐々木英之, 仁尾正記, 藤代準, 武井一, 入戸野博, 木村昭彦. 胆道閉鎖症におけるオキシステロール及び胆汁酸分析の有用性~ a pilot study ~. 第 36 回日本小児肝臓研究会. 2019.7.13-14 (京都)
6. 坂口廣高, 小西健一郎, 石原潤, 木下正啓, 橋詰直樹, 八木実, 松浦俊治, 田口智章, 眞田幸弘, 田井中貴久, 内田広夫, 佐々木英之, 仁尾正記, 水落建輝. 血清 MMP-7 は本邦における胆道閉鎖症の診断に有用か? ~ a pilot study ~. 第 36 回日本小児肝臓研究会. 2019.7.13-14 (京都)
7. 小西健一郎, 水落建輝, 高木祐吾, 坂口廣高, 石原潤, 木下正啓, 橋詰直樹, 八木実, 松浦俊治, 田口智章, 眞田幸弘, 田井中貴久, 内田広夫, 佐々木英之, 仁尾正記, 藤代準, 武井一, 入戸野博, 木村昭彦. 胆道閉鎖症におけるオキシステロール及び胆汁酸分析の有用性~ a pilot study ~. 第 46 回日本胆道閉鎖症研究会. 2019.11.30 (広島)

—受賞・獲得研究費—

1. 水落建輝. 優秀ポスター賞 (Poster of Distinction). DIAGNOSTIC ACCURACY OF SERUM PROTEINASE 3 ANTINEUTROPHIL CYTOPLASMIC ANTIBODIES FOR PAEDIATRIC PATIENTS WITH ULCERATIVE COLITIS: A PROSPECTIVE MULTICENTER STUDY IN JAPAN. 5th International Symposium on Paediatric Inflammatory Bowel Disease. 2019.9.11-14 (Budapest, Hungary)
2. 石原潤. 優秀演題賞 (栄養部門). 小児炎症性腸疾患における血清亜鉛およびセレン値の検討: 後方視的多施設研究. 第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良)
3. 小西健一郎. 優秀演題賞 (消化器部門). 本邦における先天性クローラ下痢症の臨床・遺伝子像: 厚労科研事業全国調査. 第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良)
4. 石原潤. Young Investigator Award. 小児炎症性腸疾患における血清亜鉛およびセレン値の検討: 後方視的多施設研究. 第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会. 2019.11.29 (福岡)
5. 水落建輝 (研究代表者). 文科省科学研究費基盤研究 C 「オキシステロールは小児急性肝不全のバイオマーカーとして有用か?」. 2018 ~ 20 年度. 429 万円 (2019 年度 130 万円).
6. 水落建輝 (研究分担者). AMED 仁尾班 「胆道閉鎖症診療ガイドライン改定を目指したエビデンス創出研究」. 分担研究課題名 「胆道閉鎖症の予後予測に関する新規バイオマーカー探索に関する研究」. 2019 年度 117 万円.
7. 水落建輝 (研究分担者). AMED 田尻班 「小児期のウイルス性肝炎の病態解明と治療の標準化に関する研究」. 分担研究課題名 「小児ウイルス性肝炎の病態の解明」. 2019 年度 33 万円.
8. 水落建輝 (研究分担者). AMED 林班 「進行性家族性肝内胆汁うっ滞症 2 型に対する世界初・日本発の内科的治療法の確立に向けたブフェニールの医薬品開発研究」. 分担研究課題名 「PFIC2 に対するブフェニールの長期安全性・有効性評価を目的とした医師主導治験」. 2019 年度 17 万円.
9. 水落建輝 (研究分担者). 厚労省科研田口班 「小児期から移行期・成人期を包括する希少難治性慢性消化器疾患の医療政策に関する研究班」. 2019 年度 10 万円.
10. 水落建輝 (研究代表者). 2019 年日本小児 IBD 研究会学術助成金. 「小児炎症性腸疾患における血清亜鉛およびセレン値の臨床的有用性に関する研究」. 10 万円

腎泌尿器

—論文—

1. Nagayama A, Ashida K, Moritaka K, Hidaka M, Gobaru M, Tanaka S, Hasuzawa N, Akasu S, Goto Y, Motomura S, Hara K, Tsuruta M, Wada N, Nakayama H, Tajiri Y, Nomura M. Metreleptin Supplementation for Improving Lipid and Glycemic Profiles in Acquired Diabetes Lipodystrophy: A Case Report. J Endocr Soc. 2019 16;3:2179-2183
2. 北城恵史朗, 大園秀一, 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 田中征治, 山下裕史朗. 小児血液・腫瘍疾患経験者における腎合併症の縦断的研究 集学的治療の影響. 日本小児腎臓病学会 2019 (0915-2245) 32.2.105-111
3. 田中征治, 中村舞, 松永遼, 荒木潤一郎, 倉田悟子, 江崎拓也, 財津亜友子, 岩元二郎, 市川光太郎, 山下裕史朗. 小児科尿路感染症患者における急性巣状細菌性腎炎 (AFBN) の早期画像診断の必要性に関する検討. 日本逆流性腎症フォーラム 2019. P32-34

—講演・シンポジウム—

1. 田中征治. 小児尿禁制疾患に対する小児内科のアプローチ. 第 28 回日本小児泌尿器学会総会学術集会. 2019.7.3-5 (佐賀)
2. 田中征治. 明日から役立つ子供の腎・泌尿器疾患への対応～学校検尿. 夜尿遺尿, 包茎～. 久留米医師会. 2019.10.10(久留米)

—学会・研究会—

国際学会

1. Ayuko Zaitu, Seiji Tanaka, Takuya Esaki, Yushiro Yamashita. The problem of transition from pediatric to adult healthcare with idiopathic nephrotic syndrome in children. The 17th China-Japan-Korea Pediatric Nephrology Seminar 2019
2. Ayuko Zaitu, Seiji Tanaka, Takuya Esaki, Yushiro Yamashita. The transition from pediatric to adult healthcare with idiopathic nephrotic syndrome in children 18th IPNA CONGRESS 2019.10.20. (Venice)

国内学会

1. 田中征治, 小松誠和, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 倉田悟子, 江崎拓也, 財津亜友子, 山下裕史朗. 難治性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブの臨床効果と B 細胞受容体 (BCR) レパトアの関連性. 第 54 回日本小児腎臓病学会学術集会 2019.6.7-8 (大阪)
2. 財津亜友子, 江崎拓也, 田中征治, 山下裕史朗. 多発膀胱憩室と多発尿路結石を認めた Menkes 病の一例. 第 28 回日本小児泌尿器学会総会・学術集会 2019.7.5 (佐賀)
3. 財津亜友子, 江崎拓也, 田中征治, 山下裕史朗. 小児特発性ネフローゼ症候群 (INS) における成人期再発と以降医療の関係. 第 54 回日本小児腎臓病学会学術集会 2019.6.7-8 (大阪)
4. 江崎拓也, 田中征治, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 倉田悟子, 財津亜友子, 齊木玲央, 喜多村美幸, 八ッ賀秀一. 尿崩症による腎機能障害や尿路拡張を防ぐためには早期の治療介入が重要である. 第 54 回日本小児腎臓病学会学術集会 2019.6.7-8 (大阪)
5. 江崎拓也. 尿崩症患児における腎泌尿器合併症に対する介入方法の確立に向けて. 第 28 回日本小児泌尿器学会総会・学術集会 2019.7.5 (佐賀)
6. 倉田悟子, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 江崎拓也, 財津亜友子, 田中征治, 小松誠和, 久野敏. ネフローゼ症候群に対するリツキシマブ投与後の遅発性好中球減少における骨髓所見と末梢血 CD20 細胞の検討. 第 54 回日本小児腎臓病学会学術集会 2019.6.7 (大阪)
7. 荒木潤一郎. リツキシマブ投与後の生ワクチン接種の有効性と安全性. 第 54 回小児腎臓病学会学術集会 2019.6.7(大阪)
8. 日吉祐介, 荒木潤一郎, 倉田悟子, 江崎拓也, 財津亜友子, 田中征治, 山下裕史朗. 異なる時期に出現した Supranormal differential renal function の 2 例 第 28 回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会, 7 月 3 日 (佐賀)
9. 日吉祐介, 財津亜友子, 江崎拓也, 田中征治, 原田英明, 前野泰樹, 神田洋, 山下裕史朗. 晩期循環不全 (LCC) に伴う低 Na 血症と浸透圧脱髄症候群 (ODS) に関する後方視的検討. 第 54 回日本小児腎臓病学会・学術総会, 6 月 7 日, 大阪
10. 東陽三, 江崎拓也, 財津亜友子, 田中征治, 山下裕史朗. 側腹部痛を繰り返した間欠性水腎症の 1 例. 福岡地方会 2019.
11. 久保雄太郎, 財津亜友子, 前田靖人, 江崎拓也, 吉本裕良, 岸本慎太郎, 籠手田雄介, 田中征治, 須田憲治, 山下裕史朗. 房室ブロックへの体外式ペーシングで腹膜透析カテーテル出口部変更術を行った 1 例. 第 122 回日本小児科学会総会 2019.4.19-21 (金沢)
12. 石本隆浩, 三宅亮輔, 平田衣乃, 三宅淳, 中村美彩, 大石早織, 満尾美穂, 中川慎一郎, 大園秀一, 山下

裕史朗. 若年発症のメソトレキセート関連リンパ増殖症の1例: 第48回九州地区小児固形悪性腫瘍研究会. 2019.3.23 (福岡市)

13. 羽田伊知郎, 中野瑛子, 渡邊順子, 田中征治, 田代恭子, 楊國昌. 尿中クレアチニン低値により診断に至ったアルカプトン尿症の1例. 第54回小児腎臓病学会学術集会 2019.6.7(大阪)

—研究会—

1. 江崎拓也, 日吉祐介, 荒木潤一郎, 倉田悟子, 財津亜友子, 田中征治. 当院にの尿崩症患者の腎泌尿器合併症と排尿状況のまとめ. 第27回日本逆流性腎症フォーラム 2019.2.9 (大阪)
2. 日吉祐介, 財津亜友子, 江崎拓也, 田中征治, 山下裕史朗, 井川掌. 多発膀胱憩室と多発尿路結石を認めた Menkes 病の一例. 第16回九州小児泌尿器研究会, 2月24日 (熊本)
3. 日吉祐介, 財津亜友子, 江崎拓也, 田中征治. 腎疾患の家族歴がない Alport 症候群の腎生検時期に関する検討. 第55回福岡小児腎疾患研究会, 9月28日 (福岡)
4. 荒木潤一郎. 薬剤性の急性尿細管間質性腎炎 (ATIN) を疑っていた尿中 β 2MG 異常高値の一例. 第33回九州小児ネフロロジー研究会 2019.7.13(佐賀)

—研究費—

1. 田中征治. 厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業「ワクチンの有効性・安全性の臨床評価と VPD の疾病負荷に関する疫学研究」 20万円
2. 田中征治 文部省科学研究費 (基盤研究 C) 難治性ネフローゼ症候群における B 細胞の関与 (研究分担者) 442万円

内分泌・筋・ミトコンドリア

—論文—

1. Akiba K, Ushijima K, Fukami M, Hasegawa Y. A heterozygous protein-truncating RFX6 variant in a family with childhood-onset, pregnancy-associated and adult-onset diabetes. *Diabetic Medicine* 2019 Apr 18. doi: 10.1111/dme.13970.
2. Ohsawa Y, Hagiwara H, Nishimatsu SI, Hirakawa A, Kamimura N, Ohtsubo H, Fukai Y, Murakami T, Koga Y, Goto YI, Ohta S, Sunada Y. Taurine supplementation for prevention of stroke-like episodes in MELAS: a multicentre, open-label, 52-week phase III trial. *Journal of neurology, neurosurgery, and psychiatry* 2019;90(5):529-36.
3. Suzuki E, Shima H, Kagami M, Soneda S, Tanaka T, Yatsuga S, Nishioka J, Oto Y, Kamiya T, Naiki Y, Ogata T, Fujisawa Y, Nakamura A, Kawashima S, Morikawa S, Horikawa R, Sano S, Fukami M. (Epi)genetic defects of MKRN3 are rare in Asian patients with central precocious puberty. *Human genome variation* 2019;6:7.
4. Koga Y, Povalko N, Inoue E, Nashiki K, Tanaka M. Biomarkers and clinical rating scales for sodium pyruvate therapy in patients with mitochondrial disease. *Mitochondrion* 2019;48:11-5.
5. Matsui M, Yamadera M, Saito T, Fujimura H, Sakoda S, Koga Y. Biomarker changes associated with clinical symptoms in MELAS patient. *Neurol Clin Neurosci* 2019;00:1-3. DOI: 10.1111/ncn3.12325.
6. Kadoya T, Sakakibara A, Kitayama K, Yamada Y, Higuchi S, Kawakita R, Kawasaki Y, Fujino M, Murakami Y, Shimura M, Murayama K, Ohtake A, Okazaki Y, Koga Y, Yorifuji T. Successful treatment of infantile-onset ACAD9-related cardiomyopathy with a combination of sodium pyruvate, beta-blocker, and coenzyme Q10. *Journal of pediatric endocrinology & metabolism : JPEM* 2019;32(10):1181-5.
7. Nohara S, Ishii A, Yamamoto F, Yanagihara K, Moriyama T, Tozaka N, Miyake Z, Yatsuga S, Koga Y, Hosaka T, Terada M, Yamaguchi T, Aizawa S, Mamada N, Tsuji H, Tomidokoro Y, Nakamagoe K, Ishii K, Watanabe M, Tamaoka A. GDF-15, a mitochondrial disease biomarker, is associated with the severity of multiple sclerosis. *Journal of the neurological sciences* 2019;405:116429.
8. Umino S, Kitamura M, Katoh-Fukui Y, Fukami M, Usui T, Yatsuga S, Koga Y. A case of combined 21-hydroxylase deficiency and CHARGE syndrome featuring micropenis and cryptorchidism. *Molecular genetics & genomic medicine* 2019:e730.
9. Ushijima K, Narumi S, Ogata T, Yokota I, Sugihara S, Kaname T, et al. KLF11 variant in a family clinically diagnosed with early childhood-onset type 1B diabetes. *Pediatric diabetes* 2019;20(6):712-9.
10. Ushijima K, Okuno M, Ayabe T, Kikuchi N, Kawamura T, Urakami T, Yokota I, Amemiya S, Uchiyama T, Kikuchi T, Ogata T, Sugihara S, Fukami M, The Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes (JSGIT). Low prevalence of maternal microchimerism in peripheral blood of Japanese children with type 1 diabetes. *Diabet Med* 2019 Dec 23. doi: 10.1111/dme.14221.
11. Ikawa M, Povalko N, Koga Y. Arginine therapy in mitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis, and stroke-like episodes. *Current opinion in clinical nutrition and metabolic care* 2020;23(1):17-22.

12. 古賀靖敏. 特集 小児科医に知ってほしいミトコンドリア病 UPDATE ミトコンドリア病とは何か. 小児科診療 2019;82(4):423-6.
13. 古賀靖敏. ミトコンドリア病の治療薬および疾患バイオマーカーの開発. 日本小児科学会雑誌 2019;123(4):686-97.
14. 古賀靖敏. ミトコンドリア病のバイオマーカー GDF15. 実験科学 増刊号 ミトコンドリアと疾患・老化 2019;37(12):174-81.
15. ハツ賀秀一. バイオマーカーの開発. 遺伝子医学 MOOK35 号. ミトコンドリアと病気. 2019 (in press).

—講演・シンポジウム—

1. 古賀靖敏. MELASに伴う頭痛の治療. 第47回日本頭痛学会総会 シンポジウム9:プライマリーケア医が知っておくべき“治療可能な”2次性頭痛. 2019.11.15-16(埼玉)

—学会・研究会講演—

1. Koga Y. L-arginine therapy at super-acute phase improved clinical symptoms, MRI abnormality and GDF15. The 8th European Conference on Clinical Neuroimaging (ECCN 2019). 2019.5.20-21(Brussels, Belgium).
2. Kitamura M, Yatsuga S, Nishioka J, Matsumoto T, Umino S, Kawano A, Saiki R, Tanaka Y, Koga Y. The incidence and diagnostic factors of polydipsia and polyuria: a single center survey in Japan. European Society for Paediatric Endocrinology 2019 (ESPE 2019). 2019.9.19-21 (Vienna, Austria).
3. Ushijima K, Kikuchi N, Kikuchi T, Kawamura T, Urakami T, Amemiya S, Ogata T, Yokota I, Sugihara S, Fukami M, The Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes. Low prevalence of maternal microchimerism in Japanese children with type 1 diabetes. European Society for Paediatric Endocrinology 2019 (ESPE 2019). 2019.9.19-21 (Vienna, Austria).
4. Mukasa R, Yatsuga S, Kitamura M, Koga Y. Association between severity score, IQ and cognitive function in patients with MELAS. 16th Conference of Asian Society for Mitochondrial Research and Medicine (ASMRM 2019). 2019.10.3-5 (Fukuoka, Japan).
5. Koga Y. Mitochondrial biomarker GDF15: usefulness and development of diagnostic device from laboratory inspection to automated inspection. Mitochondrial Medicine 2019. 2019.12.11-13 (Cambridge, UK).
6. 古賀靖敏, 井上永介, 中村秀文, 石井亜紀子, 本林光雄, 畑郁江, 藤井克則, 田中雅嗣. MELAS/MELA に対する第II相多施設共同ランダム化プラセボ対照比較試験. 第122回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢)
7. 田中ゆかり, 嘉村拓郎, 喜多村美幸, ハツ賀秀一, 齊木玲央, 田中祥一郎, 大矢崇志, 神田洋, 岡松由記. 在宅移行した campomelic dysplasia の一例. 第122回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢)
8. 齊木玲央, 北城恵史郎, 山下大輔, 喜多村美幸, 高瀬隆太, 田中ゆかり, 田中祥一郎, 神田洋, 岡松由記, ハツ賀秀一. 幼児期から続く食事制限・日光回避でビタミンD欠乏性低Ca血症を来した14歳男児. 第122回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢)
9. 喜多村美幸, ハツ賀秀一, 坂田清彦, 杉田保雄, 古賀靖敏. 尿崩症都成長障害を呈し、MRIで下垂体病変を認め、1年後に胚細胞腫と診断したWilson病の10歳男児. 第92回日本内分泌学会学術総会. 2019.5.9-11 (仙台)
10. 向笠理緒, ハツ賀秀一, 喜多村美幸, 松本孝子. 臨床心理士介入による小児高度肥満の治療効果. 第92回日本内分泌学会学術総会. 2019.5.9-11 (仙台)
11. 古賀靖敏, 喜多村美幸, ハツ賀秀一. アルギニンによる超急性期治療における臨床症状, MRI画像, GDF15の推移. 第61回日本小児神経学会学術集会. 2019.5.31-6.2 (名古屋)
12. 古賀靖敏. ミトコンドリア病の治療薬とバイオマーカーの開発. 第61回日本小児神経学会学術集会. 2019.5.31-6.2 (名古屋)
13. ハツ賀秀一, 天野直子, 宇都宮朱里, 小林弘典, 高澤啓, 長崎啓祐, 中村明枝, 西垣五月, 沼倉周彦, 藤原幾麿, 南谷幹史, 長谷川奉延, 田島敏広. 日本のチトクロームP450オキシドレダクターゼ欠損症の実態アンケート調査. 第53回小児内分泌学会学術集会. 2019.9.26-28 (京都)
14. Yatsuga S, Amano N, Utsunomiya A, Kobayashi H, Takasawa K, Nagasaki K, Nakamura A, Nishigaki S, Numakura C, Fujiwara I, Minamitani K, Hasegawa T, Tajima T. Clinical course of cytochrome P450 oxidoreductase deficiency in Japan: a nationwide survey. 第53回小児内分泌学会学術集会. 2019.9.26-28 (京都)
15. Ushijima K, Kikuchi N, Kikuchi T, Kawamura T, Urakami T, Amemiya S, Ogata T, Yokota I, Sugihara S, Fukami M, The Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes. The prevalence of maternal microchimerism in Japanese children with type 1 diabetes is lower than that of Caucasian patients with type 1 diabetes. 第53回小児内分泌学会学術集会. 2019.9.26-28 (京都)
16. 海野聡子, 喜多村美幸, 島さほ, 島田翔, 津村直哉, 中村美和子, 日野綾, 越智悠一, 岡松由記, ハツ賀秀一, 古賀靖敏. 糖尿病性ケトアシドーシスに高ナトリウム血症を合併した14歳男児の症例. 第53回小

児内分秘学会学術集会. 2019.9.26-28 (京都)

17. 喜多村美幸, ハツ賀秀一, 海野聡子, 西岡淳子, 松本孝子, 田中ゆかり, 齊木玲央, 河野敦子, 古賀靖敏. FibroScan を用いた、肥満児の非アルコール性脂肪性肝疾患の評価. 第 53 回小児内分秘学会学術集会. 2019.9.26-28 (京都)
18. 高口僚太郎, ハツ賀秀一. ターナー女兒を持つ父親へのインタビューの 3 例: 社会学の視点から発見された「沈黙する父親たち」の実態. 第 53 回小児内分秘学会学術集会. 2019.9.26-28 (京都)
19. 高口僚太郎, ハツ賀秀一. ターナー女性本人、母親、父親へのインタビュー結果の比較: 効果的な支援のあり方の提言. 第 53 回小児内分秘学会学術集会. 2019.9.26-28 (京都)
20. 西田彩花, 向笠理緒, ハツ賀秀一, 徳田智代. 小児肥満における家族機能と QOL に関する研究. 第 53 回小児内分秘学会学術集会. 2019.9.26-28 (京都)
21. 鈴木江莉奈, 島彦仁, 鏡雅代, 曾根田瞬, 田中敏章, ハツ賀秀一, 西岡淳子, 大戸佑二, 神谷敏也, 内木康博, 緒方勤, 藤澤泰子, 中村明枝, 川嶋明香, 森川俊太郎, 堀川玲子, 佐野伸一郎, 深見真紀. 中枢性思春期早発を招く MKRN3 異常の主体は、de novo 変異の発生ではなく、父由来変異の伝達である. 第 53 回小児内分秘学会学術集会. 2019.9.26-28 (京都)
22. Ushijima K, Kikuchi N, Kikuchi T, Kawamura T, Urakami T, Amemiya S, Ogata T, Yokota I, Sugihara S, Fukami M, The Japanese Study Group of Insulin Therapy for Childhood and Adolescent Diabetes. The low prevalence of maternal microchimerism in the peripheral blood of Japanese children with type 1 diabetes. 第 64 回日本人類遺伝学会学術集会. 2019.11.7-9 (長崎)
23. 海野聡子, ハツ賀秀一, 松本孝子, 喜多村美幸, 西岡淳子, 齊木玲央, 古賀靖敏, 山下裕史朗. 当科における 2 型糖尿病の現状と課題. 第 503 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2019.2.9 (福岡)
24. 喜多村美幸, ハツ賀秀一, 西岡淳子, 松本孝子, 海野聡子, 河野敦子, 齊木玲央, 田中ゆかり, 古賀靖敏. 多飲多尿を主訴として当院を受診した患者の検討. 日本小児内分秘学会九州地方会. 2019.2.23 (北九州)
25. ハツ賀秀一. 酵素補充療法導入後 3 年が経過した周産期型 HPP2 例. 福岡周産期低ホスファターゼ症カンファレンス. 2019.3.7 (福岡)
26. 喜多村美幸, ハツ賀秀一, 齊木玲央, 古賀靖敏, 山下裕史朗. ポンペ病新生児スクリーニングで要精密 6 例の転帰と課題. 第 505 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2019.6.8 (福岡)
27. 古賀木綿子, ハツ賀秀一, 喜多村美幸, 古賀靖敏, 山下裕史朗. 成長ホルモン治療中の Noonan 症候群 4 例の経過. 第 505 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2019.6.8 (福岡)
28. 古賀木綿子, ハツ賀秀一, 海野聡子, 古賀靖敏. 成長ホルモン注射により局所の脂肪萎縮を来した 3 男児例. 第 19 回日本内分秘学会九州支部学術集会. 2019.9.7 (宮崎)
29. 木村拓郎, ハツ賀秀一, 喜多村美幸, 海野聡子, 古賀靖敏. IgG4 上昇を伴い尿崩症を呈し下垂体炎が疑われる 12 歳男児例. 第 29 回臨床内分秘代謝 Update. 2019.11.29-30 (高知)
30. 田中ゆかり, 齊木玲央, 岡松由記, 牛嶋規久美, 海野聡子, 古賀木綿子, ハツ賀秀一, 古賀靖敏, 山下裕史朗. 低ホスファターゼ症女児例の 4 年間の酵素補充療法の経験. 第 507 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2019.12.14 (福岡)

—研究費・受賞—

1. 古賀靖敏. 日本医療研究開発機構研究費 難治性疾患実用化研究事業「ミトコンドリア病に合併する高乳酸血症に対するピルビン酸ナトリウム治療法の開発研究—試薬からの希少疾病治療薬開発の試み—」研究開発代表者 (2019 年度) 1,150 万円
2. 古賀靖敏. 日本医療研究開発機構研究費 難治性疾患実用化研究事業「世界初・日本発ミトコンドリア病治療薬 MA-5 のオールジャパン臨床治験」研究開発分担者 (2019 年度)
3. 古賀靖敏. 日本医療研究開発機構研究費 医療分野研究成果展開事業「tRNA 修飾異常を起因とする疾患の診断システム開発」研究開発分担者 (2019 年度) 10 万円
4. 古賀靖敏. 厚生労働省科学研究費 難治性疾患等政策研究事業 (難治性疾患政策研究事業)「ミトコンドリア病の調査研究」分担研究者 (2019 年度) 24 万円
5. 古賀靖敏. 文部科学省科学研究費 基盤研究 (C)「GDF15 を用いたミトコンドリア病・メタボリック症候群に対する創薬の基盤研究」研究代表者 (2018 年度～2020 年度) 340 万円

感染症

—論文—

1. Tataka K, Gotoh K, Okumiya K, Teramachi M, Ishimoto K, Tanaka Y, Iwahashi J, Shindou S, Yamashita Y, Watanabe H: Molecular epidemiology, antimicrobial susceptibility, and characterization of fluoroquinolone non-susceptible *Streptococcus pyogenes* in Japan. *Journal of Infection and Chemotherapy* S1341-321X(19)30304-6 2019
2. Yaita K, Gotoh K, Nakano R, Iwahashi J, Sakai Y, Horita R, Yano H and Watanabe H: Biofilm-Forming by

Carbapenem Resistant Enterobacteriaceae May Contribute to the Blood Stream Infection. International Journal of Molecular Science. 2019, 20, 5954

- 井手水紀, 後藤憲志, 三宅淳, 屋宮清仁, 多々良一彰, 中嶋洋介, 寺町麻利子, 田中悠平, 山下裕史朗: 当科における小児の真菌血症の検討. 小児感染免疫 Vol.31 No3 P241-245 2019

—総説・その他—

- 後藤憲志: JAID/JSC 感染症治療ガイド 2019 皮膚軟部組織感染症 p183-201 2019
- 後藤憲志: JAID/JSC 感染症治療ガイド 2019 小児のウイルス性腸炎 p290-292 2019

—教育セミナー、その他—

- 後藤憲志: ロタウイルスワクチンは1価を使用すべきである (Cons) PINSTR 2019.8.3-4(東京)
- 田中悠平: おたふくかぜワクチンは国内株を使用すべきである (Pros) PINSTR 2019.8.3-4(東京)
- 後藤憲志: 小児渡航外来のススメ. 教育講演. 第29回日本外来小児科学会年次集会. 2019.9.1 (福岡)
- 後藤憲志: 現地で学ぶ熱帯感染症セミナー 2019.9.3-7(チェンマイ)

—講演会—

- 後藤憲志: 薬剤耐性 (AMR) アクションプランに基づく抗菌薬の適正使用. 熊本県小児科医会学術集会 2019.2.3 (熊本)
- 多々良一彰: 海外勤務労働者に必要なワクチン. 第26回海外渡航者のための感染対策研究会 2019.3.22 (久留米)
- 後藤憲志: 最近の予防接種事情. 小郡三井医師会予防接種講演会 2019.9.18 (小郡)
- 後藤憲志: 最近の予防接種事情. 久留米市予防接種講演会 2019.10.16(久留米)
- 後藤憲志: 最近の予防接種事情. 苦笑会 2019.11.15 (福岡)

—学会発表—

- Gotoh K, Tataru K, Watanabe H: Fluoroquinolone non-susceptible Streptococcus pyogenes in Japan. U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (USJCMSP)21st Acute Respiratory Infections (ARI) Panel Meeting – Bacterial Diseases 2019 2.27-3.1(Hanoi)
- Sakamoto T, Gotoh K, Tataru K, Watanabe H: Retrospective analysis for candidemia during six year from 2013 to 2018. APSIC2019 2019.3.19-22 (Danang)
- Tataru K, Gotoh K, Okumiya K, Teramachi M, Ishimoto K, Tanaka Y, Watanabe H: What's the mean of Koch phenomenon? : 3rd Global Conference and Expo on Vaccines Research & Development. 2019.3.25-26 March 25-26 (Italy)
- Gotoh K, Miyake A, Okumiya K, Tataru K, Teramachi M, Tanaka Y, Tsumura N, Watanabe H: Efficacy of voriconazole therapeutic drug monitoring in children ESPID2019 2019.5.6-11(Slovenia)
- Tanaka Y, Gotoh K, Y Nakamura Y, Okumiya K, Tataru K, Tanaka T, Miyata I, Oishi T, Nakano T, Terada K, Ouchi K: Analysis of the etiology of fever in infants aged ≤90 days using multiplex real-time PCR and 16S rRNA gene amplicon sequencing. ESPID2019 2019.5.6-11 (Slovenia)
- Tataru K, Gotoh K, Okumiya K, Teramachi M, Tanaka Y, Watanabe H: Fluoroquinolone non-susceptible Streptococcus pyogenes in Japan: the 37th Annual Meeting of the European Society for Paediatric Infectious Diseases, ESPID2019 2019.5.6-11 (Slovenia)
- Okumiya K, Gotoh K, Tataru K, Nakajima Y, Teramachi M, Yamasita Y : Which drugs should be used for urinary tract infection empirically in the post antibiotic era? ESPID2019 2019.5.6-11 (Slovenia)
- 三宅亮輔, 平田衣乃, 中村美彩, 屋宮清仁, 後藤憲志, 山下裕史朗: 遺伝子 emm4A 群溶血性レンサ球菌が検出された侵襲性溶連菌感染症の1例. 第503回日本小児科学会福岡地方会例会 2019.2.9 (福岡)
- 後藤憲志, 坂本透, 多々良一彰, 渡邊浩: 海外渡航外来における小児の受診状況. 第93回日本感染症学会総会・学術集会 2019.4.4-6 (名古屋)
- 多々良一彰, 後藤憲志, 坂本透, 渡邊浩: 当院海外旅行・ワクチン外来における渡航者への麻疹ワクチン接種の現状: 第93回日本感染症学会総会・学術集会 2019.4.4-6 (名古屋)
- 多々良一彰, 後藤憲志, 屋宮清仁, 津村直幹, 山下裕史朗: 当院における DOT を用いた抗菌薬使用状況の比較検討: 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-21 (金沢)
- 屋宮清仁, 後藤憲志, 多々良一彰, 中嶋洋介, 山下裕史朗: 抗菌薬適正使用における小児感染症医の役割. 122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-21 (金沢)
- 後藤憲志, 坂本透, 多々良一彰, 渡邊 浩: 無莢膜型インフルエンザ菌による肺膿瘍の一例. 第33回バイオフィルム学会学術集会 2019.7.5-6(名古屋)
- 田中悠平: 期末試験終了後より背部痛および両下肢不全麻痺を認めた14歳女児例. 第29回日本外来小児

科学会年次集会 2019.9.1 (福岡)

15. 後藤憲志, 三宅淳, 田中玄師, 多々良一彰, 屋宮清仁, 田中悠平, 山下裕史朗, 渡邊浩: 海外渡航外来における小児の受診状況. 第 51 回日本小児感染症学会総会・学術集会 2019, 10.25-27 (旭川)
16. 田中悠平, 屋宮清仁, 多々良一彰, 岡松由記, 後藤憲志: 当科における小児化膿性骨髄炎 7 例の検討. 第 51 回日本小児感染症学会総会・学術集会 2019.10.26-27 (旭川)
17. 屋宮清仁, 多々良一彰, 田中悠平, 後藤憲志, 山下裕史朗: 繰り返す菌血症の原因として齲歯が侵入門戸として考えられた急性骨髄性白血病の一例. 第 51 回日本小児感染症学会総会・学術集会 2019.10.26-27 (旭川)
18. 多々良一彰, 後藤憲志, 島さほ, 三宅淳, 田中玄師, 屋宮清仁, 田中悠平, 山下裕史朗, 渡邊浩: 福岡県で検出されたトスフロキサシン低感受性 A 群 β 溶連菌の分子疫学的考察. 第 51 回日本小児感染症学会総会・学術集会 2019.10.26-27 (旭川)
19. 多々良一彰, 後藤憲志, 坂本透, 柏木孝仁, 原好勇, 渡邊浩: 末梢血幹細胞移植後にパロキサビル耐性インフルエンザウイルスの感染が長期間持続した一例: 第 90 回日本感染症学会西日本地方会 2019.11.7-9 (浜松)

代謝・遺伝

—論文—

1. Masui D, Fukahori S, Mizuochi T, Watanabe Y, Fukui K, Ishii S, Saikusa N, Hashizume N, Higashidate N, Sakamoto S, Takato A, Yoshiura KI, Tanaka Y, Yagi M. Cystic biliary atresia with paucity of bile ducts and gene mutation in KDM6A: a case report. *Surg Case Rep.* 2019 Aug 14;5(1):132
2. Ken-ichiro Konishi, Tatsuki Mizuochi, Tadahiro Yanagi, Yoriko Watanabe, Kazuhiro Ohkubo, Shouichi Ohga, Hidehiko Maruyama, Ichiro Takeuchi, Yuji Sekine, Kei Masuda, Nobuyuki Kikuchi, Yuka Yotsumoto, Yasufumi Ohtsuka, Hidenori Tanaka, Takahiro Kudo, Atsuko Noguchi, Kazumasa Fuwa, Sotaro Mushiake, Shinobu Ida, Jun Fujishiro, Yushiro Yamashita, Tomoaki Taguchi, Ken Yamamoto. Clinical Features, Molecular Genetics, and Long-Term Outcome in Congenital Chloride Diarrhea: A Nationwide Study in Japan. *J Pediatr.* 2019 Nov;214:151-157.
3. Mayumi Matsufuji, Eiko Takeshita, Masayuki Nakashima, Yoriko Watanabe, Kaori Fukui, Toshio Hanai, Hiromi Ishibashi, Sachio Takashima. Sodium phenylbutyrate improved the clinical state in an adult patient with Arginase 1 deficiency. *Brain Dev.* 2019 Oct 8. pii: S0387-7604(19)30128-7. doi: 10.1016/j.braindev.2019.09.002. [Epub ahead of print]
4. Pin Fee Chong, Masaru Matsukura, Kaoru Fukui, Yoriko Watanabe, Naomichi Matsumoto and Ryutaro Kira. West syndrome in an infant with vitamin B12 deficiency born to autoantibodies positive mother. *Front. Pediatr.*, 20 December 2019 | <https://doi.org/10.3389/fped.2019.00531>
5. 越智悠一, 大園秀一, 大石早織, 中川慎一郎, 満尾美穂, 福井香織, 渡邊順子, 山下裕史朗. 肝移植後 9 年目に慢性骨髄性白血病を発症したメチルマロン酸血症の 1 例. *小児科臨床* vol.72, No.6 2019. 791-794(85)

—著書—

1. 渡邊順子: ムコ多糖症 (MPS) II 型診療ガイドライン 2019 診断と治療社 (東京) 2019 年 7 月 1 日発行. 日本先天代謝異常学会編集 総ページ 24.
2. 渡邊順子: ゴーシェ病診療ガイドライン 2019 診断と治療社 (東京) 2019 年 3 月 30 日発行. ゴーシェ病診療ガイドライン作成委員会編集 総ページ 133.
3. 渡邊順子: ファブリ病診療ガイドライン 2019 診断と治療社 (東京) 2019 年 3 月 30 日発行. ファブリ病診療ガイドライン作成委員会編集 総ページ 67.
4. 今日の小児治療指針 第 17 版 Fabry 病 医学書院 (東京) 2020 年 in press

—講演—

- 国内学会

1. 渡邊順子. 先天代謝異常症のよりよいトータルケアをめざして, あなたならどうする? ~アミノ酸代謝・有機酸代謝異常症を中心に~. 第 122 回日本小児科学会学術集会 教育セミナー 2019.4.19-21 (金沢市)
2. 渡邊順子. 新生児マススクリーニング陽性者に対する説明と配慮 小児科医からみた新生児マススクリーニング. 第 46 回日本マススクリーニング学会 シンポジウム 2019.11.22-23 (那覇市)

- 研究会

1. 渡邊順子. ファブリ病の遺伝カウンセリングについて. Amicus Symposium in Kyushu 2019.1.26 (福岡市)
2. 渡邊順子. 新生児マススクリーニングの最近の話題 筑後周産期カンファランス 2019.2.28 (久留米市)

—学会・研究会発表—

- 国内学会

1. 当院を受診し診断に至ったシトリン欠損症 25 例の診断契機に関する検討. 三浦真理子, 福井香織, 田代恭子, 渡邊順子, 山下裕史朗. 第 122 回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-21 (金沢)
2. Yasuhiko Ago, Hiroki Otsuka, Hideo Sasai, Yoriko Watanabe, Kaori Fukui, Kazuteru Kitsuda, Yoko Nakajima, Tetsuya Ito, Hidenori Ohnishi, Toshiyuki Fukao. Evaluation of wild-type and 5 variant HMGCS2 expressed in E.coli and human fibroblasts. 第 61 回日本先天代謝異常学会総会 2019.10.24-26 (秋田市)
3. Kaori Fukui, Tomoyuki Takahashi, Yoriko Watanabe, Yushiro Yamashita, Naotada Ishihara, Hitomi Matsunari, Ayuko Uchikura, Hiroshi Nagashima, Makoto Yoshino. A novel therapeutic strategy for hyperammonemia. 第 61 回日本先天代謝異常学会総会 2019.10.24-26 (秋田市)

—研究費・受賞—

1. 分担研究者：渡邊順子. 平成 31 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 (難治性疾患政策研究事業) 「ライソゾーム病 (ファブリ病含む) に関する調査研究」責任者：衛藤義勝
2. 分担研究者：渡邊順子. 平成 31 年度厚生労働科学研究委託費 (難治性疾患等克服研究事業 (難治性疾患等実用化研究事業 (難治性疾患実用化研究事業))) 「エビジェネティック希少疾患の治療に向けた研究および原因未解明な稀少疾患に対する解析技術展開研究」責任者：吉浦孝一郎
3. 福井香織. 平成 29 年～31 年度 科学研究費助成事業若手研究 (B) 「体タンパク質の同化・異化調節機構への介入による高アンモニア血症の新規治療薬の開発」

小児心身症

—論文—

1. Nagamitsu S, Fukai Y, Uchida S, Matsuoka M, Iguchi T, Okada A, Sakuta R, Inoue T, Otani R, Kitayama S, Koyanagi K, Suzuki Y, Suzuki Y, Sumi Y, Takamiya S, Fujii C, Tsurumaru Y, Ishii R, Kakuma T, Yamashita Y. Validation of a childhood eating disorder outcome scale. Biopsychosoc Med. 2019 Sep 11;13:21. doi: 10.1186/s13030-019-0162-3. eCollection 2019.
2. Sakai S, Nagamitsu S, Koga H, Kanda H, Okamatsu Y, Yamagata Z, Yamashita Y. Characteristics of socially high-risk pregnant women and children's outcomes. Pediatr Int. 2019 (in press).
3. Ozono S, Nagamitsu S, Matsuishi T, Yamashita Y, Ogata A, Suzuki S, Mashida N, Koseki S, Sato H, Ishikawa S, Togasaki Y, Sato Y, Sato S, Sasaki K, Shimada H, Yamawaki S. Reliability and validity of the Children's Depression Inventory-Japanese version. Pediatr Int. 2019;61(11):1159-1167.
4. 永光信一郎, 村上佳津美. 小児特定疾患カウンセリング料の適応拡大に向けた実態調査 日本小児科学会雑誌 2019;123:1822-1827.
5. 山下大輔, 向井隆代, 千葉比呂美, 櫻井利恵子, 松岡美智子, 石井隆大, 須田正勇, 下村豪, 須見よし乃, 鈴木雄一, 深井善光, 内田創, 作田亮一, 井上建, 大谷良子, 井口敏之, 鈴木由紀, 高宮静男, 北山真次, 鶴丸靖子, 藤井智香子, 岡田あゆみ, 小柳憲司, 山下裕史朗, 角間辰之, 永光信一郎. 小児摂食態度調査票 (ChEAT-26) の有用性について—神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症との比較から—. 子どもの心とからだ, 2019;28(1):51-57

—著書—

1. 永光信一郎. <特集> 児童虐待からみた思春期の問題 被虐待児における学童・思春期の精神症状. 思春期学 VOL36 NO.34 2019.12
2. 永光信一郎. 【子どものこころ診療エッセンス】 こころの診療の基本 思春期の心理社会的問題 小児科診療 2019;10:1259-1264.
3. 永光信一郎, 三牧正和. 健やか親子 21(第 2 次) すべての子どもが健やかに育つ社会を目指して 小児科 2019;60:1163-1172.

—講演・シンポジウム—

1. 永光信一郎. 『君を知ってる?』～思春期健診と思春期アプリによるヘルスプロモーション～ 平成 30 年度 AMED 脳と心の研究課一般市民向け公開シンポジウム 脳とこころの研究 第四回公開シンポジウム テーマ「脳とこころの発達と成長」2019.3.2 (東京)

- 教育講演 -

2. 永光信一郎. 思春期の親子のかかりつけ医制度を目指して. 第 29 回日本外来小児科学会年次集会 2019.9.1(福岡)

- 分野別シンポジウム -

3. 永光信一郎. 子どものこころにどう触れる? ~誰もができる心身症治療. 子どもの状態を客観的に把握する~検査の進め方と QTA の利用 第 122 回日本小児科学会学術集会 2019.4.19(金沢)

- 記念企画 -

4. 永光信一郎. 生老病死と心身医学 1 子どもとからだ ―親子の心の診療と思春期― 第 2 回日本心身医学会合同集会心身医学会 2019.11.17 (大阪)

—学会・研究会演題—

-1 国際学会 -

1. Kotaro Yuge, Yukako Yae, Aiko Isooka, Ryuta Ishii, Shinichiro Nagamitsu, Kazuhiro Iwama, Naomichi Matsumoto, Toyojiro Matsuishi, Yushiro Yamashita. A novel USP8 mutation causes Rett syndrome-like phenotypes in a Japanese boy. 15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology (AOCCN 2019). 2019.9.20 Malaysia
2. Yukako Yae, Kotaro Yuge, Aiko Isooka, Masao Suda, Ryuta Ishii, Takashi Ohya, Shinichiro Nagamitsu, Naoki Hashizume, Motomu Yoshida, Minoru Yagi, Yushiro Yamashita. Bioelectrical impedance analysis is a good method of treatment efficacy on spinal muscular atrophy: A pilot study. 15th Asian Oceanian Congress of Child Neurology (AOCCN 2019). 2019.9.20 Malaysia

-2 国内学会 -

—優秀推薦演題—

1. 永光信一郎, 岡田あゆみ, 小柳憲司, 山崎知克, 村上佳津美. 小児特定疾患カウンセリング料の適応拡大に向けた実態調査 (秋のアンケート). 第 37 回日本小児心身医学会学術集会 2019.9.14(広島)

—学会発表—

2. 永光信一郎, 松岡美智子, 千葉比呂美, 石井隆大, 岡田あゆみ, 小柳憲司, 山崎知克, 村上佳津美, 山下裕史朗. 親子の心の診療マップ (女性版・子ども版・親版) の作成—「気づき」と「つなぐ」—. 第 37 回日本小児心身医学会学術集会 2019.9.13(広島)
3. 石井隆大, 永光信一郎, 石井潤, 坂口廣高, 水落建輝, 山下裕史朗. 治療経過中に門脈ガス血症を来した摂食障害の 2 例. 第 506 回日本小児科学会福岡地方会例会 2019.10.12(福岡)

—その他—

1. 永光信一郎. 親子の心の診療マップ—多職種連携を目指して— 50 回北九州子どものこころ懇話会 2019.5.10 (北九州)
2. 永光信一郎. 不登校児童・生徒の対応の支援. 三潞郡学校保健会研修会 2019.6.12(福岡)
3. 永光信一郎. 思春期の子どもの特徴と問題: より良い対応を目指して. 第 25 回日本医学会公開フォーラム 2019.6.15(東京)
4. 永光信一郎. 親子の心の診療マップ (女性版・子ども版・親版) ティーンズ健診令和元年度久留米市思春期意見交換会 2019.7.26 (久留米)
5. 永光信一郎. 児童虐待の現状と予防への取り組みについて 小児科医の立場から 10 ポイントレッスン 令和元年度第 1 回『筑後かかりつけ医・産業医と精神科医師連携研修』2019.10.15 (久留米)
6. 永光信一郎. 合併症・副作用に着目した ADHD 薬物治療 (チックなど). ADHD Symposium 2019 in Kobe 2019.11.10(神戸)
7. 永光信一郎. 思春期のヘルスプロモーション~誰が、いつ、何をどのように関わるか?~.
8. 令和元年度 (第 66 回) 福岡県小児保健研究会・母子保健関係者研修会 2019.12.7(久留米)
9. 永光信一郎. 子どもの心の問題 小児精神神経疾患と心身症. 産業医科大学医学部講義 成長と発達 1 (小児科学) 2019.12.10 (折尾)
10. 永光信一郎. 思春期のヘルスプロモーション ~小児科医による思春期健診の社会実装化を目指して~. 山口県小児科医会学術講演会 2019.12.15(山口)

—研究費・受賞—

1. 永光信一郎. 日本医療研究開発費 (AMED)(継続) 成育疾患克服等総合研究事業 (主任研究者 永光信一郎) 「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」450 万円
2. 永光信一郎. 厚生労働省科学研究費 (継続) 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (主任研究者 永光信一郎) 「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」692 万円
3. 永光信一郎. 厚生労働省科学研究費 (新規) 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 (主任研究者 山縣然

- 太朗)「母子保健情報を活用した「健やか親子 21(第2次)」の推進に向けた研究(19DA0301)」70万円
4. 永光信一郎. 厚生労働科学研究費(継続)成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(主任研究者 岡明)「身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」100万円
 5. 永光信一郎. 文部科学省研究費 基盤研究(C)(新規)「アクティブラーニングによる親子コミュニケーション促進アプリの開発」120万円
 6. 永光信一郎. エーザイ株式会社 医学・薬学に関する研究活動への奨学寄付金 50万円
 7. 永光信一郎. 文部科学省研究費 基盤研究(C)(継続)(代表 土生川 千珠)「思春期心身症に対する不登校予防のための教育・医学連携の学校健診システムの構築」10万円

—班会議—

1. 永光信一郎, 堀越勝, 伊藤正哉, 蟹江絢子, 片山崇, 牧田潔, 中嶋愛一郎, 岡琢哉, 牧田潔. 平成31年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」思春期アプリ会議. 2019.4.17(東京)
2. 永光信一郎, 作田亮一, 阪下和美, 岡田あゆみ, 重安良恵. 平成31年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」永光班個別班会議 2019.4.20-21(金沢)
3. 永光信一郎. 平成31年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健情報を活用した「健やか親子 21(第2次)」の推進に向けた研究」に関する情報共有・勉強会, 今年度の山縣班に関する日帰り合宿 2019.5.21(東京)
4. 永光信一郎, 酒井さやか. 平成31年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「母子保健情報を活用した「健やか親子 21(第2次)」の推進に向けた研究」第1回山縣班班会議 2019.6.7(金)(東京)
5. 永光信一郎, 堀越勝, 片岡弥恵子, 関口進一郎, 道端伸明, 川名敬, 内山有子, 千先園子, 尾川春香. 平成31年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」永光班班会議 2019.5.28(東京)
6. 永光信一郎, 岡田あゆみ, 片柳章子, 阪下和美, 作田亮一, 松浦賢長, 北島翼, 大谷良子. 平成31年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」CBTアプリ講習会 2019.5.30(東京)
7. 永光信一郎. 平成31年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」第1回永光班班会議 2019.6.3(東京)
8. 永光信一郎. 平成31年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」第1回PSPO会議 2019.6.18(東京)
9. 永光信一郎. 平成31年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」第1回岡班班会議 2019.6.16(東京)
10. 永光信一郎, 堀越勝. 平成31年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」個別班会議 2019.7.20(土)(熊本)
11. 永光信一郎, 堀越勝, 片山崇. 令和元年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」むぎまる2020プロジェクト 2019.10.18(東京)
12. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」第2回岡班班会議 2019.11.4(東京)
13. 永光信一郎. 令和元年度日本医療研究開発費(AMED)「思春期健診およびモバイルテクノロジーによる思春期のヘルスプロモーション」第2回PSPO合同会議 2019.11.26(東京)
14. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」岡班個別班会議 2019.12.5(久留米)
15. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」永光班個別班会議 2019.12.26(東京)
16. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)「身体的・精神的・社会的(biopsychosocial)に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」岡班個別班会議 2020.1.11(東京)

17. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究」第2回永光班班会議 2020.1.29(東京)
18. 永光信一郎. 令和元年度厚生労働科学研究費（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）「身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial) に健やかな子どもの発育を促すための切れ目のない保健・医療体制提供のための研究」第3回岡班班会議 2020.2.24 (東京)

小児救急

—論文—

1. 長井孝二郎, 鴻池善彦, 田代恵太, 夏秋洋平, 名嘉真武国, 高須修. 選択的血漿交換療法を施行した小児表皮壊死症の1例. 日集中医誌 2019;26:449-50.

—講演・シンポジウム—

1. 長井孝二郎. 熱中症. 第56回日本小児外科学会学術集会, 第9回教育セミナー 2019.5.24 (久留米)

—国内学会—

1. 東陽三, 井上忠, 松石登志哉, 長井孝二郎. 出血性ショックを呈した下顎骨巨大動静脈奇形の1例. 第33回日本小児救急医学会学術集会 2019.6.21 (大宮)

免疫膠原病

—論文—

1. Tsuji S, Matsuzaki H, Iseki M, Nagasu A, Hirano H, Ishihara K, Ueda N, Honda Y, Horiuchi T, Nishikomori R, Morita Y, Mukai T. Functional analysis of a novel G87V TNFRSF1A mutation in patients with TNF receptor-associated periodic syndrome. *Clin Exp Immunol.* 2019;198(3):416-29
2. Tanaka T, Yoshioka K, Nishikomori R, Sakai H, Abe J, Yamashita Y, Hiramoto R, Morimoto A, Ishii E, Arakawa H, Kaneko U, Ohshima Y, Okamoto N, Ohara O, Hata I, Shigematsu Y, Kawai T, Yasumi T, Heike T. National survey of Japanese patients with mevalonate kinase deficiency reveals distinctive genetic and clinical characteristics. *Mod Rheumatol.* 2019;29(1):181-7
3. Shiba T, Tanaka T, Ida H, Watanabe M, Nakaseko H, Osawa M, Shibata H, Izawa K, Yasumi T, Kawasaki Y, Saito MK, Takita J, Heike T, Nishikomori R. Functional evaluation of the pathological significance of MEFV variants using induced pluripotent stem cell-derived macrophages. *J Allergy Clin Immunol.* 2019;144(5):1438-41 e12
4. Nishikomori R, Izawa K, Kambe N, Ohara O, Yasumi T. Low-frequency mosaicism in cryopyrin-associated periodic fever syndrome: mosaicism in systemic autoinflammatory diseases. *International immunology.* 2019;31(10):649-55
5. Nakaseko H, Iwata N, Izawa K, Shibata H, Yasuoka R, Kohagura T, Abe N, Kawabe S, Nishikomori R. Expanding clinical spectrum of autosomal dominant pyrin-associated autoinflammatory disorder caused by the heterozygous MEFV p.Thr577Asn variant. *Rheumatology (Oxford).* 2019;58(1):182-4
6. Nakamichi S, Origuchi T, Fukui S, Yoda A, Matsubara H, Nagaura Y, Nishikomori R, Abe K, Migita K, Sakamoto N, Kawakami A, Ozono Y, Maeda T. A Rare Case of Cryopyrin-associated Periodic Syndrome in an Elderly Woman with NLRP3 and MEFV Mutations. *Intern Med.* 2019;58(7):1017-22
7. Masui S, Yonezawa A, Izawa K, Hayakari M, Asakura K, Taniguchi R, Isa M, Shibata H, Yasumi T, Nishikomori R, Takita J, Matsubara K. Plasma infliximab monitoring contributes to optimize Takayasu arteritis treatment: a case report. *J Pharm Health Care Sci.* 2019;5:9
8. Boisson B, Honda Y, Ajiro M, Bustamante J, Bendavid M, Gennery AR, Kawasaki Y, Ichishima J, Osawa M, Nihira H, Shiba T, Tanaka T, Chrabieh M, Bigio B, Hur H, Itan Y, Liang Y, Okada S, Izawa K, Nishikomori R, Ohara O, Heike T, Abel L, Puel A, Saito MK, Casanova JL, Hagiwara M, Yasumi T. Rescue of recurrent deep intronic mutation underlying cell type-dependent quantitative NEMO deficiency. *J Clin Invest.* 2019;129(2):583-97

—総説—

1. 西小森隆太. 【小児リウマチ性疾患の Transition- 小児リウマチ医が内科 / 整形リウマチ医に繋げたいこと】自己炎症性疾患の現状と今後に向けた提案. *分子リウマチ治療 (1882-9163)*12 巻 3 号 Page135-137(2019.07)
2. 西小森隆太. 【小児リウマチ性疾患の診療～これまでのエビデンスに基づく最近の知見～】自己炎症性疾患 CAPS、家族性地中海熱、TRAPS、高 IgD 症候群. *Pharma Medica(0289-5803)*37 巻 7 号 Page57-61(2019.07)
3. 西小森隆太. 【指定難病ペディア 2019】個別の指定難病 免疫系 遺伝性自己炎症疾患 [指定難病 325]. *日本医師会雑誌 (0021-4493)*148 巻特別 1 Page S181(2019.06)

4. 西小森隆太, 井澤和司. 【小児疾患の診断治療基準】(第2部) 疾患 アレルギー性疾患、自己免疫・リウマチ性疾患(膠原病) 自己炎症症候群. 小児内科 (0385-6305)50 巻増刊 Page314-316(2018.11)
5. 井澤和司, 西小森隆太. 【自己炎症性疾患における最近の展開】自己炎症性疾患の診療ガイドライン. 分子リウマチ治療 (1882-9163)12 巻 1 号 Page4-6(2019.01)

—講演・シンポジウム—

- 1. 国際学会
なし
- 2. 国内学会
 1. 西小森隆太. リウマチ学領域の難病研究の最新情. 第63回日本リウマチ学会総会・学術集会 2019.4.16 (京都)
 2. 西小森隆太. Precision medicine 小児免疫アレルギー疾患での取り組み. 第68回日本アレルギー学会学術大会 2019.6.14 (東京)
 3. 西小森隆太. I型インターフェロノパチー. 第84回インターフェロンサイトカイン学会 2019.7.2 (神戸)
- 3. 研究会・学会地方会
 4. 西小森隆太. 自己炎症性疾患アップデート. 小児リウマチ研修会 2019.2.17 (東京)
 5. 西小森隆太. 周期熱・不明熱の診療 大学病院での経験から学んだ事. 第22回中国地区小児免疫薬物療法研究会 2019.3.2 (広島)
 6. 西小森隆太. 不明熱の診療 いつ自己炎症性疾患を疑い、どのように診断し、治療するか. 小児科学会沖縄地方会 2019.3.17 (那覇)
 7. 西小森隆太. 小児免疫アレルギー疾患診療の進歩 この20年をふりかえって. 久留米大学同門会 2019.5.25 (久留米)
 8. 西小森隆太. 不明熱の診療 プライマリーでの対応を中心に. 丹丹会 2019.6.26 (博多)
 9. 西小森隆太. 原因不明の発熱 自己炎症症候群. 第5回三重リウマチ臨床セミナー 2019.7.4 (四日市)
 10. 西小森隆太. 自己炎症性疾患アップデート. 第12回静岡小児膠原病・自己炎症性疾患研究会 2019.9.14 (静岡)
 11. 西小森隆太. 小児期の関節痛の鑑別診断 JIA を中心にして. 久留米リウマチ懇話会 2019.11.28 (久留米)
 12. 西小森隆太. 自己炎症性疾患アップデート. 自己炎症フォーラム 2019.11.19 (岡山)

—学会・研究会—

- 1. 国際学会
 1. Hiroshi Nihira, Kazushi Izawa, Takahiro Yasumi, Moeko Ito, Sachiko Iwaki-Egawa, Yoji Sasahara, Hirokazu Kanegane, Tadateru Yasu, Tomohiro Kubota, Syuji Takei, Dai Keino, Etsuro Nanishi, Hidetoshi Takada, Shoichi Ohga,
 2. Syunsuke Kajikawa, Makio Takahashi, Naoko Nakano, Osamu Ohara, Toshio Heike, Junko Takita, Ryuta Nishikomori. Multi-omics analysis of ADA2 deficiency in Japanese cohort. ISSAID2019 2019.3.31-4.3
Hidenori Ohnishi, Tomnori Kadowaki, Norio Kawamoto, Tomohiro Hori, Kenichi Nishimura, Chie Kobayashi, Tomonari Shigemura, Shohei Ogata, Yuzaburo Inoue, Tomoki Kawai, Eitaro Hiejima, Kazushi Izawa, Tadashi Matsubayashi, Kazuaki Matsumoto, Masatoshi Takagi, Kohsuke Imai, Ryuta Nishikomori, Shuichi Ito, Toshio Heike, Osamu Ohara, Tomohiro Morio, Hirokazu Kanegane, Toshiyuki Fukao. The clinical and immunological profiles of haploinsufficiency of A20 in Japan. ISSAID2019 2019.3.31-4.3
 3. Nobuo Kanazawa, Hiroaki Ida, Noriko Kinjo, Tomoaki Ishikawa, Ryuta Nishikomori. Diagnostic criteria for proteasome-associated autoinflammatory syndromes (PRAASS) including Nakajo-Nishimura syndrome, JMP syndrome and CANDLER syndrome ISSAID2019 2019.3.31-4.3
 4. Takeshi Shiba, Takayuki Tanaka, Hiroaki Ida, Misa Watanabe, Haruna Nakaseko, Mitsujiro Osawa, Hirofumi Shibata, Kazushi Izawa, Takahiro Yasumi, Yuri Kawasaki, Megumu K. Saito, Junko Takita, Toshio Heike, Ryuta Nishikomori. Differential activation of the pyrin inflammasome in monocytes and macrophages predicts the pathological significance of MEFV variants in familial Mediterranean fever (FMF) patients. ISSAID2019 2019.3.31-4.3
 5. Hidenori Ohnishi, Shinsuke Kataoka, Hideki Muramatsu, Emi Kadoi, Nobuo Kanazawa, Satoshi Okada, Yoshitaka Honda, Kazushi Izawa, Ryuta Nishikomori, Takeshi Taketani, Jun Hamazaki, Shigeo Murata, Yoshiyuki Takahashi, Toshiyuki Fukao. A case of novel identified proteasome-related autoinflammation and immunodeficiency syndrome caused by PSMB9 mutation. 2019.3.31-4.3
 6. Y. Honda¹, T. Yasumi¹, T. Miyamoto¹, M. Nishitani¹, H. Nihira¹, T. Shiba¹, H. Shibata¹, T. Tanaka¹, K. Kanda², K. Izawa¹, H. Kanegane³, T. Heike⁴, J. Takita¹, R. Nishikomori. A CTLA-4 haploinsufficiency case with multiple brain and pulmonary lesions - dilemmas in management. ESID2019 2019.9.18-22.

-2. 国内学会

1. 伊藤萌子, 久保江里奈, 仁平寛士, 井澤和司, 八角高裕, 西小森隆太, 渡辺泰裕, 江川祥子 [岩城]. 乾燥ろ紙血を用いたアデノシンデアミナーゼ2の酵素活性測定. 日本薬学会 第139年会 2019.3.20-23 (千葉)
2. 西小森隆太. リウマチ学領域の難病研究の最新情報 厚労省研究班自己炎症性疾患での取り組み. 第63回日本リウマチ学会総会・学術集会 2019.4.15-17 (京都)
3. 田中孝之, 芝剛, 西小森隆太, 井田弘明, 柴田洋史, 井澤和司, 八角高裕. 自己炎症症候群 MEFV 遺伝子の多様な塩基置換とFMF発症との関連をサイトカイン分泌の指標で評価する系の確立. 第63回日本リウマチ学会総会・学術集会 2019.4.15-17 (京都)
4. 佐々木彩恵子 (滋賀県立小児保健医療センター), 八角高裕, 井澤和司, 西小森隆太, 熊田知浩, 柴田実, 野崎章仁, 林安里, 井上賢治, 森未央子, 森篤志, 藤井達哉, 楠隆. *Helicobacter Cinaedi* による皮膚感染と菌血症のX-linked agammaglobulinemiaの1例. 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-21 (金沢)
5. 中長摩利子 (宝塚市立病院 小児科), 多久和麻由子, 古賀千穂, 藤井靖子, 井澤和司, 西小森隆太, 長坂博範. 消化管に広範なアフタ性病変を認めたA20ハプロ不全症の13歳男児例. 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-21 (金沢)
6. 西田敬弘 (愛仁会高槻病院 小児科), 谷内昇一郎, 起塚庸, 内山敬達, 南宏尚, 西小森隆太. 15年間診断出来なかった家族性地中海熱の1例. 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-21 (金沢)
7. 仁平寛士, 伊佐真彦, 芝剛, 本田吉孝, 下寺佐栄子, 柴田洋史, 田中孝之, 井澤和司, 八角高裕, 西小森隆太, 丹羽明, 滝田順子. 赤芽球癆を呈したADA2欠損症の1例. 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-21 (金沢)
8. 本田吉孝, 八角高裕, 伊佐真彦, 仁平寛士, 芝剛, 下寺佐栄子, 柴田洋史, 田中孝之, 井澤和司, 川崎ゆり, 齋藤潤, 小原收, 西小森隆太, 平家俊男, 滝田順子. 遺伝子変異が同定できない免疫不全症例における、患者iPS細胞を用いた解析例の報告. 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-21 (金沢)
9. 芝剛, 田中孝之, 西小森隆太, 井田弘明, 柴田洋史, 井澤和司, 八角高裕, 齋藤潤, 平家俊男, 滝田順子. MEFV 遺伝子の多様な variants に対する疾患関連評価系の確立. 第122回日本小児科学会学術集会 2019.4.19-21 (金沢)
10. 露崎悠 (神奈川県立こども医療センター 神経内科), 井合瑞江, 鶴崎美徳, 村上博昭, 黒澤健司, 新宅治夫, 西小森隆太, 相田典子, 蒲ひかり, 熊木達郎, 山本垂矢子, 池田梓, 辻恵, 山下純正, 後藤知英. もやもや病を伴ったIFIH1 遺伝子 R720Q 変異によるAicardi Goutieres 症候群の1例. 第61回日本小児神経学会学術集会 2019.5.31-6.2 (名古屋)
11. 松田智子, 神戸直智, Ly Thi My Nhung, 本田吉孝, 井澤和司, 西小森隆太, 金澤伸雄, 岡本祐之. 遺伝子解析によりNOD2変異を同定したブラウ症候群本邦例のまとめ. 第118回日本皮膚科学会総会 2019.6.6-9 (京都)
12. 西小森隆太. Precision medicine を実践するために (分子標的薬をどのように使いこなすか) Precision medicine 小児免疫アレルギー疾患での取り組み. 第68回日本アレルギー学会学術大会 2019.6.14-21 (東京)
13. 荒河純子, 本田吉孝, 赤澤嶺, 柴田洋史, 加藤格, 井澤和司, 八角高裕, 西小森隆太, 滝田順子. 後腹膜穿通で発症した難治性十二指腸潰瘍から好酸球性胃腸炎と診断した9歳男児例. 第68回日本アレルギー学会学術大会 2019.6.14-21 (東京)
14. 楠目エマ (高知大学), 山本真有子, 藤岡愛, 中島喜美子, 井澤和司, 西小森隆太, 佐野栄紀. Schnitzler 症候群の1例. 第71回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2019.9.7-8 (高知)
15. 宮本尚幸, 本田吉孝, 井澤和司, 前田由可子, 西谷真彦, 仁平寛士, 柴田洋史, 田中孝之, 八角高裕, 滝田順子, 西小森隆太. 不明熱診療における末梢血1型インターフェロン応答遺伝子群の発現解析の有用性. 第29回日本小児リウマチ学会総会・学術集会 2019.10.4-6 (札幌)
16. 宮本尚幸, 井澤和司, 田中孝之, 前田由可子, 西谷真彦, 仁平寛士, 本田吉孝, 柴田洋史, 八角高裕, 滝田順子, 西小森隆太. MEFV V726A/I692del 複合ヘテロ接合性変異を認め、自己免疫性肝炎を併発した家族性地中海熱の1例. 第29回日本小児リウマチ学会総会・学術集会 2019.10.4-6 (札幌)
17. 中岸保夫, 西村明紘, 浜田佳奈, 岡本圭祐, 水田麻雄, 本田吉孝, 宮本尚幸, 井澤和司, 貝藤裕史, 黒澤寛史, 清水正樹, 森貞直哉, 八角高裕, 西小森隆太. I型インターフェロン症を疑う9歳の女児症例. 第29回日本小児リウマチ学会総会・学術集会 2019.10.4-6 (札幌)
18. 田中孝之, 芝剛, 西小森隆太, 柴田洋史, 井澤和司, 柳町昌克, 齋藤潤, 中畑龍俊, 小原收, 平家俊男, 滝田順子, 八角高裕. 多彩な自己炎症性疾患を紐解く インフラマソームを介した自己炎症性疾患の診断・治療にiPS細胞がどのように役立つか? 第29回日本小児リウマチ学会総会・学術集会 2019.10.4-6 (札幌市)
19. 中島大輔, 川島祐介, 柴田洋史, 八角高裕, 伊佐真彦, 井澤和司, 西小森隆太, 平家俊男, 小原收. 膜タンパク質に着目した乾燥ろ紙血プロテオーム解析法の開発. 第69回日本電気泳動学会シンポジウム 2019.10.25 (栃木)
20. 田中征治, 小松誠和. ベリムマブ投与前後の各マーカーとfree-BAFFの関係. 第63回日本リウマチ学会総会・学術集会 2019.4.15-17 (京都)

-3. 研究会

1. 西小森隆太. Ciliopathy が疑われた 1 例 原発性免疫不全症に伴う気管支拡張症の鑑別診断 第 10 回 Q-PID 九州地区免疫不全症研究会 2019.11.2 (博多)
2. 田中征治, 江崎拓也, 財津亜友子, 西小森隆太. ぶどう膜炎を伴う 3 才の JIA. immunology summit in 久留米 2019.6.19 (久留米)
3. 田中征治, 島さほ, 江崎拓也, 財津亜友子, 西小森隆太. 脊柱起立筋や腸腰筋に筋炎を認めた SLE が疑われた症例. 第 2 回小児 SLE Expert Meeting via ZOOM 2019.9.5(久留米)
4. 平田衣乃, 田中征治, 高瀬隆太, 前田靖人, 大園秀一, 安陪由思, 須田憲治. 巨大冠動脈瘤を伴う川崎病症状で発症した EBV 血管炎の 1 例. 第 11 回 KOCS 小児リウマチ研究会 2019.6.8(福岡)

—研究費—

1. 西小森隆太. AMED・難治性疾患実用化研究事業「疾患特異的 iPS 細胞とモデルマウスを用いた Aicardi-Goutieres 症候群の中枢神経系炎症病態解明と治療薬開発・発症前診断の基盤構築」(研究代表者・継続) 340 万円
2. 西小森隆太. AMED・臨床ゲノム情報統合データベース整備事業「真に個別患者の診療に役立ち領域横断的に高い拡張性を有する変異・多型情報データベースの創成」(分担研究者・継続) 50 万円
3. 西小森隆太. 厚生労働科研費・難治性疾患克服研究事業(難治性疾患政策研究事業)「自己炎症性疾患とその類縁疾患の全国診療体制整備、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究。」(研究代表者・継続) 150 万円
4. 西小森隆太. 厚生労働科研費・難治性疾患政策研究事業「原発性免疫不全症候群の診断基準・重症度分類および診療ガイドライン確立に関する研究」(分担研究者・継続) 110 万円
5. 西小森隆太. 文部省科学研究費(基盤研究 C)「細胞工学並びにオミックス解析を用いた TNF 受容体周期性症候群の診療基盤構築」(研究代表者・新規) 130 万円
6. 西小森隆太. 石橋助成金「久留米大学における自己炎症性疾患の診断・治療向上を目指した病態解析研究」(研究代表者・新規) 200 万円

関連病院業績

聖マリア病院母子総合医療センター 新生児科

—論文—

1. Miyoshi T, Maeno Y, Hamasaki T, Inamura N, Yasukouchi S, Kawataki M, Horigome H, Yoda H, Taketazu M, Nii M, Hagiwara A, Kato H, Shimizu W, Shiraishi I, Sakaguchi H, Ueda K, Katsuragi S, Yamamoto H, Sago H, Ikeda T. Antenatal antiarrhythmic treatment for fetal tachyarrhythmias: a prospective multicenter trial. *J Am Coll Cardiol.* 2019; 74: 874-85
2. Harada E, Kinoshita M, Iwata S, Saikusa M, Tsuda K, Shindou R, Sahashi T, Kato S, Yamada Y, Saitoh S, Iwata O. Visual function scale for identification of infants with low respiratory compliance. *Pediatr Neonatol.* 2019; 60: 611-6.
3. Iwata S, Kinoshita M, Okamura H, Tsuda K, Saikusa M, Harada E, Saitoh S, Iwata O. Intrauterine growth and the maturation process of adrenal function. *Peer J.* 2019; 7: e6368.
4. 前野泰樹. 総説；胎児心不全：不整脈の重症度をどう評価する. *小児循環器学会雑誌* 2019; 34: 221-7.

—講演—

1. Maeno Yasuki. What is the role of the cardiologist during the prenatal period; regional practices. "Fetal diagnosis of cardiac diseases in Japan; Current practice and future perspective." *Women's Health Ultrasound Fetal Heart Focus Group.* 2019.8.30-31 (Zirf, Austria)
2. 前野泰樹. 教育セミナー；兩大血管右室起始症の周産期管理. 第25回日本胎児心臓病学会学術集会. 2019.2.15-16 (大阪)
3. 前野泰樹. The fetus as a Patient: 胎児期にみられる不整脈へのアプローチ. 岡山心臓血管研究会. 2019.4.24 (岡山)
4. 前野泰樹. 母体抗SS-A抗体関連胎児心疾患のステロイド治療：積極的使用の立場から. シンポジウム、胎児徐脈性不整脈の胎児治療とハイリスク症例への対応. 第55回日本小児循環器学会学術集会. 2019.6.27-29 (札幌)
5. 前野泰樹. 新生児病棟の現状と退院時への支援. 福岡県小児在宅医療推進事業、第一回小児在宅研修会. 2019.7.27 (久留米)
6. 前野泰樹. 先天性心疾患の発生と異常のスクリーニング. 第21回日本イアンダナルド超音波講座. 2019.10.25-26 (名護)
7. 前野泰樹. 教育講演；胎児・新生児の不整脈. 第64回日本新生児成育医学会学術集会. 2019.11.26-28 (鹿児島)
8. 前野泰樹. 教育講演；胎児不整脈治療の最前線. 第17回胎児治療学会学術集会. 2019.12.7-8 (岸和田)
9. 前野泰樹. 上室性頻拍の診断と管理. 日本胎児心臓病学会第4回レベルII胎児心エコー講習会. 2019.12.15 (東京)
10. 海野光昭. シンポジウム「新生児医療と遠隔診療」. 周産期遠隔医療のこれから—赤ちゃんと家族の未来に、我々は何ができるか？—第75回九州新生児研究会. 2019.9.28 (朝倉)

—学会発表—

1. Maeno Yasuki, Teramachi Yozo, Hirose Akiko, Kozuma Yutaka, Horinouchi Takashi, Suda Kenji. Novel screening method of fetal premature contraction evaluated from simple arterial Doppler flow image. 29th World Congress on Ultrasound in Obstetrics and Gynecology. 2019.10.12-16. (Berlin)
2. 三好剛一, 稲村昇, 安河内聰, 川滝元良, 堀米仁志, 与田仁志, 竹田津未生, 生水真紀夫, 新居正基, 萩原聡子, 賀藤均, 坂口平馬, 白石公, 上田恵子, 桂木真司, 濱崎俊光, 山本晴子, 左合治彦, 前野泰樹, 池田智明. 胎児頻脈性不整脈に対する経胎盤的抗不整脈薬投与に関する臨床試験—多施設共同試験—. 第25回日本胎児心臓病学会学術集会. 2019.2.15-16 (大阪)
3. 吉本裕良, 前野泰樹, 寺町陽三, 廣瀬彰. 右側大動脈弓における血管輪と気管圧迫の出生前評価方法. 第25回日本胎児心臓病学会学術集会. 2019.2.15-16 (大阪)
4. 上妻友隆, 堀之内崇士, 品川貴章, 横峯正人, 宮原通夫, 清水隆宏, 前野泰樹, 吉里俊幸, 牛嶋公生. 出生前診断した右臍静脈遺残の2症例. 第25回日本胎児心臓病学会学術集会. 2019.2.15-16 (大阪)
5. 日吉祐介, 財津亜友子, 江崎拓也, 田中征治, 原田英明, 前野泰樹, 神田洋, 山下裕史朗. 晩期循環不全(LCC)に伴う低Na血症と浸透圧性脱髄症候群(ODS)に関する後方視的検討. 第54回日本小児腎臓病学会学術集会 2019.06.07 (大阪)
6. 前野泰樹, 廣瀬彰子, 前田靖人, 吉本裕良, 籠手田雄介, 岸本慎太郎, 須田憲治. 経母体的ステロイド投与による胎内治療を受けた抗SSA抗体に起因する完全房室ブロック新生児の副腎機能不全. 第55回日本小児循環器学会. 2019.6.27-29 (札幌)
7. 前野泰樹, 廣瀬彰子, 進藤亮太, 七種護, 木下正啓, 海野光昭, 上妻友隆. 経母体的ステロイド投与によ

る胎内治療を受けた抗 SSA 抗体に起因する完全房室ブロック新生児の副腎機能不全. 第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会. 2019.7.13-15 (松本)

8. 石松真人, 清水隆宏, 前野泰樹, 木下正啓, 横峯正人, 吉里俊幸, 牛嶋公生. 経胎盤的抗不整脈薬投与を行い胎児頻脈性不整脈が改善した一例. 第 55 回日本周産期・新生児医学会学術集会. 2019.7.13-15 (松本)
9. 原田英明, 海野光昭, 木下正啓, 前野泰樹. 院外出生児に行った対話型ビデオ通話による NCPR インストラクション. 第 64 回日本新生児成育医学会学術集会. 2019.11.26-28 (鹿児島)

—研究会主催—

1. 第 75 回九州新生児研究会、主催. 代表幹事、前野泰樹. 2019.9.28

—受賞—

1. 海野光昭. 聖マリア病院、2019 年第 7 回職員 MVP 「近隣の産科との動画を使用した新生児評価による連携」

北九州市立八幡病院小児救急センター

—論文—

1. 後藤康平, 富田芳江, 神菌淳司. 病初期から冠動脈病変を合併し川崎病として治療した若年性全身型関節炎の一例久留米医学会雑誌 82 ; 225-230 : 2019

—著書—

1. 天本正乃. 誤飲増刊小児外来 : どう診るか , どこまで診るか IV. 救急 小児科臨床 72 1335-1339
2. 天本正乃. 誤飲・誤嚥小児 1 次救急マニュアルー帰宅可能か? 二次救急か? 判断のための手引き金原出版株式会社 2019
3. 木下正和, 天本正乃. IV . 症候 2. 症候失神小児の救急・搬送医療 小児内科増刊号 東京医学社 2019
4. 福政宏司. 搬送時のモニタリングと人工呼吸管理小児の救急・救急搬送 104-108 2019
5. 福政宏司. 口腔内外傷 こどもの外科救急 98-107 日本医事新報社 2019
6. 天本正乃監修 内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版診断と治療社 2019
7. 富田一郎, 天本正乃. 発疹 内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版 128-134 診断と治療社 2019
8. 興梠雅彦. 貧血内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版 321-326 診断と治療社 2019
9. 高野健一. 尿路感染症内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版 371-376 診断と治療社 2019
10. 石橋伸作. 熱性けいれん内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版 157-161 診断と治療社 2019
11. 天本正乃. 無熱性けいれん内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版 162-166 診断と治療社 2019
12. 稲垣二郎. 出血性疾患内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版 327-332 診断と治療社 2019
13. 神菌淳司. 腫瘍性疾患内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版 333-342 診断と治療社 2019
14. 西山和孝. 誤飲・誤嚥内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版 391-394 診断と治療社 2019
15. 西山和孝. 熱傷内科医・小児科研修医のための小児救急治療ガイドライン改訂第 4 版 423-431 診断と治療社 2019

—講演・シンポジウム—

1. 天本正乃. 最近の麻疹・風疹の概要 西部地区医療安全研修会講演 八幡医師会館 3 月 18 日
2. 小野友輔. 小児臨床超音波物語～名言集を添えて～茨城県こども ECHO セミナール 2 月 16 日 つくば市
3. 小野友輔. 小児救急領域の超音波検査西部地区 CPR セミナー 3 月 11 日 北九州市
4. 小野友輔. シンポジウム 小児急性腹症の超音波診断日本超音波医学会 5 月 25 日 東京都
5. 小野友輔. シンポジウム 小さなこどもの小さなパーツ 日本超音波医学会 5 月 26 日 東京都
6. 高野健一. 小児の臨床薬理学富山大学医学部臨床薬理学講義 6 月 12 日 富山県富山市
7. 一木邦彦. 子どもの事故を考える前田市民センター公開講座 6 月 24 日 北九州市
8. 小野友輔. 若手医師に捧げる 小児臨床超音波の実際茨城県超音波合宿セミナー 6 月 29 日 つくば市
9. 一木邦彦. 一般診療に紛れる虐待・育児不安にいかにつくば市小児救急ワークショップ in 北九州

- 7月13日 北九州市
10. 小野友輔. 小児臨床超音波の実際 さらくら画診 8月22日 北九州市
 11. 一木邦彦. 児童虐待防止拠点病院の活動について北九州市市民公開講座 9月8日 北九州市
 12. 一木邦彦. 感染防止対策消防局救急隊研修講座 9月13日 北九州市
 13. 小野友輔. 子育て道前田市民センター 公開講座 9月30日 北九州市
 14. 小野友輔. ランチョンセミナー 明日から役立つ小児臨床超音波日本超音波医学会九州地方会 10月6日 北九州市
 15. 天本正乃. 女性医師キャリア形成事業 女性医師交流会 コーディネーター
 - 1) 2019年3月15日 小倉医療センター
 - 2) 2019年3月20日 北九州市立八幡病院

—学会・研究会演題—

1. 西山和孝. 小児敗血症における循環管理 - 初期診療でのポイント - 第47回日本救急医学会総会学術集会 10月3日 東京
2. 西山和孝. AIIMSにおける外傷外科医育成と実働第47回日本救急医学会総会学術集会 10月3日 東京
3. 西山和孝. 小児脳死・脳死下臓器提供に関するアンケート調査のまとめ, 第47回日本救急医学会総会学術集会 10月4日 東京
4. 藤崎徹. in-depth case review 形式による院内こども虐待多機関検証会議の実際と課題 第504回日本小児科学会福岡地方会例会 4月13日 福岡市
5. 森吉研輔. 滑り台からの滑走が受傷機転となった Toddler 骨折 第504回日本小児科学会福岡地方会例会 4月13日 福岡市
6. 小野友輔. THE 小児救急・集中治療エコーハンズオンセミナー(講師)日本小児科学会学術集会 4月19日 金沢市
7. 岡島祥憲. 軽微な外傷後に発症した陰部壊死性筋膜炎の小児例 日本小児科学会学術集会 4月21日 石川県金沢市
8. 小野友輔. 小児単径ヘルニアに対する超音波診療指針の取り組み 日本小児科学会九州地方会 6月8日 福岡市
9. 小野友輔. シンポジウム 小児救急医による小児救急のためのエコー 日本小児救急医学会 6月21日 さいたま市
10. 落合健太, 岡島祥憲, 西山和孝, 高野健一, 神菌淳司. 乳幼児における「病院前意識障害」病歴聴取の重要性和課題 小児救急医学会 6月21日 大宮市
11. 落合健太, 福政宏司, 早野駿佑, 天本正乃, 神菌淳司. なぜ硬膜下血腫は見逃されたのか? ~嘔吐を主訴に外来受診した硬膜下血腫の1例から~ 小児救急医学会 6月21日 大宮市
12. 岡島祥憲, 福政宏司, 小林匡, 西山和孝, 高野健一, 神菌淳司, 天本正乃. 卵白摂取を契機に発症した急性膵炎の幼児例 第19回九州沖縄小児救急医学研究会 7月27日 北九州市
13. 森吉研輔. 3D-CT画像で縫合線離開が観察された2歳未満の頭部外傷症例の検討 第11回日本子ども虐待医学会学術集会 7月27日 函館市
14. 一木邦彦, 森吉研輔, 梶原多恵, 神菌淳司. 家族と子ども支援委員会で扱ったケースの検討 第11回日本こども虐待医学会 7月27日 函館市
15. 福田祥子, 小林匡, 早野駿佑, 福政宏司, 高野健一, 伊藤綾美, 津田雅由, 田崎幸博, 天本正乃, 神菌淳司. 頭部挫創から発症した壊死性筋膜炎の2歳男児例 第19回九州沖縄小児救急医学研究会 7月27日 北九州市
16. 岡島祥憲, 福政宏司, 小林匡, 西山和孝, 高野健一, 神菌淳司, 天本正乃. 当院における4年間の小児顔面骨骨折13例の検討 日本救急医学会学術総会 10月3日 東京都
17. 一木邦彦, 藤崎徹, 森吉研輔, 天本正乃, 神菌淳司. 医療関係者向け子ども虐待事例検証に関するワークショップ研修の試み 第507回日本小児科学会福岡地方会 10月12日 福岡市
18. 吉田峻, 八坂龍広, 天本正乃, 神菌淳司. キャスターボードによる学童期転倒事故症例の検討 第507回日本小児科学会福岡地方会 10月12日 福岡市
19. 一木邦彦, 落合健太, 藤崎徹, 森吉研輔, 神菌淳司. 両側の肋骨骨折と外傷性肝損傷を伴ったAHTの1例日本子ども虐待医学会事例検証会 11月1日 福岡市
20. 小野友輔. 小児単径ヘルニアに対する超音波診療指針の取り組み 第五回小児超音波研究会 11月16日 徳島市
21. 落合健太, 西山和孝, 福政宏司, 天本正乃, 神菌淳司. 小児頭部外傷後脳静脈洞血栓症の臨床経験と診断の課題 第507回 日本小児科学会福岡地方会例会 12月14日 福岡市
22. 白川忠信. 著明なトランスアミナーゼの上昇と頭部MRI異常を呈した Parvovirus B19 感染症6歳男児例 第507回 日本小児科学会福岡地方会例会 12月14日 福岡市

23. 堀川翔伍. 進行性骨化性線維異形成症 7 例の臨床経過と小児期長期管理の課題 第 507 回日本小児科学会福岡地方会例会 12 月 14 日 福岡市

飯塚病院

—著書—

1. 大矢崇志. 一般内科医のための小児科診療のコツ 「小児虐待—診察のポイントと対応—」. 福岡県医報. 1511.39-40

—講演・シンポジウム—

1. 岡松由記. 女性医師の離職期間を短縮するために取り組んできたこと～キャリア教育～. 第 41 回親仁会医師団総会. 2019.1.12-13 (熊本県玉名郡)
2. 大矢崇志. 発達障害のとらえ方 ～みんなちがって、みんないいの?～. 平成 30 年度 田川市学校保健会講演会. 2019.3.19 (田川市)
3. 田中祥一郎. 舌下免疫療法の地域連携—当院の現状と取り組み—. 鳥居薬品社内勉強会. 2019.5.10 (北九州市)
4. 岡松由記. 第 56 回日本小児外科学会学術集会. 「アナフィラキシー」. 2019.5.23-25 (久留米市)

—学会・研究会演題—

- 1. 国際学会 (有識者会議を含む)
 1. Tanaka Y, Gotoh K, Miyata I, Oishi T, Ouchi K. Analysis of the etiology of fever in infants aged ≤ 90 days using multiplex real-time PCR and 16S rRNA gene amplicon sequencing. The 37th Annual Meeting of the European Society for Paediatric Infectious Diseases. 2019.5.6-11 (Ljubljana, Slovenia)
- 2. 国内学会 (有識者会議を含む)
 2. 田中ゆかり, 嘉村拓朗, 喜多村美幸, ハツ賀秀一, 齊木玲央, 田中祥一郎, 大矢崇志, 神田洋, 岡松由記. 在宅移行した campomelic dysplasia の一例. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢市)
 3. 田中祥一郎, 田中ゆかり, 坂口万里江, 大矢崇志, 神田洋, 桑野瑞恵, 森田潤, 岡松由記. 舌下免疫療法の地域連携—市中病院の取り組み—. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢市)
 4. 齊木玲央, 北城恵史郎, 山下大輔, 喜多村美幸, 高瀬隆太, 田中ゆかり, 田中祥一郎, 神田洋, 岡松由記, ハツ賀秀一. 幼児期から続く食事制限・日光回避でビタミン D 欠乏性低 Ca 血症を来した 14 歳男児. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢市)
 5. 岡松由記, 松永遼, 田中ゆかり, 齊木玲央, 田中祥一郎, 松尾陽子, 大矢崇志, 坂口万里江, 神田洋. 過去 5 年間に飯塚病院に受診した小児アナフィラキシー 110 例の検討. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢市)
 6. 岡松由記. 女性医師の離職期間を短縮するために取り組んできたこと～キャリア教育～. 第 122 回日本小児科学会学術集会. 2019.4.19-21 (金沢市)
 7. 齊木玲央, 松尾陽子. 背面の皮下血腫により発症したビタミン K 欠乏症を合併した重症血友病 A の新生児症例. 第 29 回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会. 2019.6.7-8 (名古屋市)
 8. 岡松由記, 齊木玲央, ハツ賀秀一. 過剰な食物除去と日光忌避でビタミン D 欠乏性低 Ca 血症となった 14 歳のアトピー性皮膚炎患者の報告. 第 68 回日本アレルギー学会学術大会. 2019.6.14-16 (東京都千代田区)
 9. 大矢崇志, 津村由紀, 山野淳子, 石本隆浩, 齊木玲央, 森田啓督, 田中祥一郎, 神田洋, 岡松由記. 当院で経験した施設外分娩の特徴. 第 11 回日本子ども虐待医学会学術集会. 2019.7.27-28 (函館市)
 10. 田中悠平, 大矢崇志, 岡松由記. 期末試験終了後より背部痛および両下肢不全麻痺を認めた 14 歳女児例. 第 29 回日本外来小児科学会年次集会. 2019.8.31-9.1 (福岡市)
 11. 津村直弥, 加藤健, 安田亮輔, 坂口廣高, 石原潤, 江田慶輔, 小西健一郎, 高木祐吾, 水落建輝. 当院における小児機能性ディスペプシアの臨床像. 第 46 回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良市)
 12. 森田啓督, 神田洋. 小児期に心肺停止で救急搬送された当院出生児の検討—出生時からの関わりについて—. 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会. 2019.11.27-29 (鹿児島市)
 13. 神田洋, 岩永学. 小児在宅医療 (座長). 第 64 回日本新生児成育医学会・学術集会. 2019.11.27-29 (鹿児島市)
- 3. 研究会・学会地方会
 1. 大矢崇志. 発達障害の見方、考え方、つなぎ方. 第 305 回筑豊小児科医会勉強会. 2019.2.7 (飯塚市)
 2. 岡松由記, 齊木玲央, 田中祥一郎. 過剰な食物除去と・日光忌避が原因で 14 歳でビタミン D 欠乏性低 Ca 血症となったアトピー性皮膚炎の症例報告. 第 1 回日本アレルギー学会九州・沖縄支部地方会. 2019.2.16 (福岡市)

3. 神田洋. 平成 30 年 飯塚病院における小児診療のまとめ. 第 306 回筑豊小児科医会勉強会. 2019.3.14(飯塚市)
4. 齊木玲央. 知っておきたい乳児におけるビタミン D 欠乏症～母乳栄養児におけるピットフォール～. 第 48 回筑豊周産期懇話会. 2019.6.6(飯塚市)
5. 森田啓督, 岡松由記. 最近 10 年間の当院における来院時心肺停止 (CPAOA) 小児 48 例のまとめ. 第 19 回九州・沖縄小児救急医学研究会. 2019.7.27(北九州市)
6. 岡松由記, 西小森隆太. 訪問看護を導入した重症アトピー性皮膚炎の報告. 第 47 回西日本アレルギー研究会. 2019.8.8-9(福岡市)
7. 岡松由記. 当院に入院する喘息患者のまとめ. 第 310 回筑豊小児科医会勉強会. 2019.8.22(飯塚市)
8. 岡松由記. (座長). 第 310 回筑豊小児科医会勉強会. 2019.8.22(飯塚市)
9. 津村直弥, 田中悠平, 嘉村拓朗, 大矢崇志, 神田 洋, 岡松由記. 過去 3 シーズンにおけるヒトメタニューモウイルス感染症 98 例の検討. 第 506 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2019.10.12(福岡市)
10. 齊木玲央. 頬部巨大血管腫に対してプロプラノロール内服療法を行った超低出生体重児の一例. 第 313 回筑豊小児科医会勉強会. 2019.12.5(飯塚市)
11. 田中ゆかり, 齊木玲央, 岡松由記, 牛嶋規久美, 海野聡子, 古賀木綿子, ハツ賀秀一, 古賀靖敏, 山下裕史朗. 低ホスファターゼ症女児例の 4 年間の酵素補充療法の経験. 第 507 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2019.12.14(福岡市)
12. 齊木玲央. 内分泌 (座長). 第 507 回日本小児科学会福岡地方会例会. 2019.12.14(福岡市)

-4. その他 (学内・院内勉強会、企業・NPO 主催の講演会など)

—新聞掲載—

1. 大矢崇志. あなたのカルテ 小児の医療的ケア. 西日本新聞. 2019.6.5

—研究費・受賞—

医療法人藤本育成会 大分こども病院

—著書・論文—

1. 藤本保. 子どもと家族を支える～大分こども病院における医療保育専門士の役割～, 日本医療保育学会機関誌「医療と保育」, vol.17,No.1,2019: 2-5
2. 仲家志保. 病棟における保育士の役割と実践, 日総研「こどもと家族のケア」, 2019.10・11 月号: 44-49

—講演・シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ—

《全国学会》

1. 永野和子, 木下博子, 堀込聖子. 病児保育専門士 スペシャルインタレストセッション. 「病児保育専門士だから見えること～事例を通して考察しよう～」, 第 29 回全国病児保育研究大会 in いわて, 2019.7 (岩手・盛岡市)
2. 松本康弘, 木下博子, 金原洋治. WS 「発達障害のある児への服薬を支援するための絵カードを用いたツールの作成」, 第 29 回日本外来小児科学会年次集会, 2019.9 (福岡)
3. 藤本保. 日本医師会学校医宣言について, 第 50 回全国学校保健・学校医大会, 2019.11 (東京)

《研究会・学会地方会》

1. 藤本保. 保育園・認定こども園と小児科医の更なる連携のために～講演 2 感染症について～, 第 60 回大分県小児科医会定例総会シンポジウム, 2019.6 (大分)
2. 藤本保. 園と園医の協働 ～園医が使命を果たすには～, 日本保育保健協議会第 1 回大分県研修会. 2019.7 (大分)

《その他》

1. 藤本保. 虐待を受けた児童の心と身体の変化, 大分県警 人身安全事案専科講義, 2019.7 (大分)
2. 佐藤真砂子. 診察時における不安・苦痛の軽減を目的としたプレパレーションの取り組み, 第 7 回全国病児保育協議会大分県支部研修会, 2019.9 (大分)
3. 西村あづさ, 楠木奈緒美, 佐藤真砂子, 荒巻良美. ケアルーム・火災発生時対応マニュアルの周知を目指して～病院職員との連携により, スムーズな消火・避難誘導へ～, 第 7 回全国病児保育協議会大分県支部研修会, 2019.9 (大分)
4. 西村あづさ. 佐藤真砂子: WS プレパレーションの実施に繋げていくために～安心して過ごせる病児保育室を目指して～, 第 7 回全国病児保育協議会大分県支部研修会, 2019.9 (大分)

5. 木下博子. 小児医学3 薬に関する知識～乳幼児の薬；飲ませかた・使い方～, 全国病児保育協議会「病児保育専門士」資格認定講習会, 2019.10 (東京)
6. 宮本麻子. 肌荒れや花粉症で食物アレルギーに！？食物アレルギーの新常識, 皮膚の日講演会, 2019.11 (大分)

—学会発表—

《国際学会》

1. Ohno Y : NAMIC DEFECOGRAPHY IN THE DIAGNOSIS OF OUTLET OBSTRUCTION DUE TO INSUFFICIENT FIXATION OF THE RECTUM TO THE SACRUM, PS2019, 2019.3 (ニュージーランド)

《全国学会》

1. 光武伸祐, 山口智之, 阿部直歩, 後藤千佳, 岸本慎太郎, 久富真由美, 桑門克治, 藤本保. 2014～2017年のRSウイルス感染症による入院927症例の検討, 第122回日本小児科学会学術集会, 2019.4 (石川)
2. 大野康治, 藤本保. 直腸の仙骨前面固定不良によるoutlet obstructionの2例, 56回日本小児外科学会学術集会, 2019.5 (福岡・久留米)
3. 大塚咲希, 藤本保. 遊戯療法が安心できる場所の広がりとの母子分離を支えた1例, 第37回日本小児心身医学会学術集会, 2019.9 (広島)

《研究会・学会地方会》

1. 大塚咲希, 藤本保. 遊戯療法が安心できる場所の広がりとの母子分離を支えた1例, 第15回日本小児心身医学会九州沖縄地方会, 2019.3 (福岡)
2. 島田翔, 岸本慎太郎, 松田史佳, 吉塚梯子, 堀川洋平, 山口智之, 阿部直歩, 後藤千佳, 光武伸祐, 桑門克治, 藤本保. 対応に苦慮した被虐待を疑う2症例, 第107回日本小児科学会大分地方会例会, 2019.3 (大分)
3. 宮本麻子. 熱傷でのフィブラストスプレー使用例, 大分皮膚疾患研究会, 2019.6 (大分)
4. 宮本麻子, 阿部直歩, 後藤千佳, 藤本保. 大分こども病院における経口負荷試験の実態～2017年度と2018年度のまとめ～, 第105回日本皮膚科学会大分地方会, 2019.6 (大分)
5. 堀川洋平, 岸本慎太郎, 東陽三, 阪田健祐, 衛藤恵理子, 芳原良子, 阿部直歩, 後藤千佳, 光武伸祐, 桑門克治, 藤本保. 薬剤耐性アクションプランに基づいた当院での抗菌薬適正使用に向けての試み, 第108回日本小児科学会大分地方会例会, 2019.7 (大分)
6. 阪田健祐, 岸本慎太郎, 東陽三, 衛藤恵理子, 堀川洋平, 芳原良子, 阿部直歩, 後藤千佳, 光武伸祐, 桑門克治, 末延聡一, 藤本保. 当院における#8000導入後の深夜帯受診患者の動向, 第108回日本小児科学会大分地方会, 2019.7 (大分)
7. 東陽三. 顔面打撲後に漿液性鼻汁を認め, 受章2日目に細菌性髄膜炎を発症した2歳児例, 第19回九州・沖縄小児救急医学研究会, 2019.7 (福岡・北九州市)
8. 糸長昌彦, 東陽三, 衛藤恵理子, 阪田健祐, 堀川洋平, 芳原良子, 阿部直歩, 後藤千佳, 岸本慎太郎, 光武伸祐, 桑門克治, 藤本保. ワクチンギャップの現在～当院における海外渡航目的ワクチン接種の事例から～, 第25回大分小児保健学会, 2019.8 (大分)

—その他—

《新聞掲載》

1. 光武伸祐. 「子どもの熱中症に注意」, 大分合同新聞 朝刊, 2019.7.4, 7面

大牟田市立病院小児科

—学会発表—

1. 鳥さほ, 江田慶輔, 井上忠, 嶽間澤昌史, 上杉達, 村上義比古. 思春期の繰り返す鼻出血から若年性血管線維腫の診断に至った一例. 第122回日本小児科学会学術集会. 2019/4/19

筑後市立病院小児科

—国際学会—

1. 磯岡藍子. Questionnaire survey on fractures in patients with Rett syndrome. 15th The Asian and Oceanian Neurology Association Congress 2019.9.21(クアラルンプール)

東佐賀病院小児科

—学会・研究会演題—

1. 中西未来, 荒牧修一, 今吉美代子, 横田吾郎, 陣内久美子, 上野知香, 山本修一. 重症心身障害者の骨粗鬆症に対するゾレドロン酸の効果. 第45回日本重症心身障害学会学術集会. 2019.9.19 (岡山)
2. 山本修一. 当院におけるマイコプラズマ入院症例の臨床的検討. 第77回佐賀小児科地方会. 2017.4.23 (佐賀)
3. 古賀友里恵, 垣添真世, 松谷智子, 荒牧修一. オリーブ油と荳胡麻油で改善したエレンタールによる必須脂肪酸欠乏症の1例. 第16回九州国立病院管理栄養士協議会栄養管理学会. 2019.9.7 (福岡)

田川社会保険病院

—論文—

1. Yasuda R, Mizuochi T, Kitamura M, Migita K, Yamashita Y. Canakinumab eliminates resistant familial Mediterranean fever in a Japanese girl. *Pediatr Int* 2019;61:1173-1174.

—国内学会—

1. 安田亮輔, 石原潤, 坂口廣高, 小西健一郎, 江田慶輔, 高木祐吾, 水落建輝. 当院における小児過敏性腸症候群患者の臨床像. 第46回日本小児栄養消化器肝臓学会. 2019.11.1-3 (奈良)

久留米幼児教育研究所

—講演—

1. 家村明子. 発達障害の子ども達を地域でみること. 第74回くるめ相談ネット研修会 2019.5.16(久留米)
2. 家村明子. 乳幼児健診と発達障害について. 令和元年度 乳幼児健診関係者研修会 2019.10.3(久留米)
3. 家村明子. こどもの上手なほめ方・叱り方. 令和元年度 津福小学校 成人講座 2019.10.10(久留米)
4. 家村明子. 発達の気になるお子さんへの関わり方. 令和元年度 こども子育てサポートセンター 発達育児支援教室① 2019.11.28
5. 家村明子. 将来役立つソーシャルスキル. 令和元年度 幼児教育研究所 発達支援に関する子育て講演会 2019.12.3
6. 家村明子. 発達の気になるお子さんへの関わり方. 令和元年度 こども子育てサポートセンター 発達育児支援教室② 2019.12.12

同門業績

橋本 武夫

—学会主催・特別講演・シンポ・パネル—

1. 橋本武夫. 「先端医療に心を持ちこむ～新生児医療と来るべきものに寄り添って～」日本小児科学会・第29回春季カンファランス 第23回九州外来小児科学研究会共催 2019.4.7 久留米シティプラザ
2. 橋本武夫. 学会主催「タッチからタッチケアへ」第7回日本タッチケア学会 2019.6.9 東京 SYD ホール
3. 橋本武夫. 特別講演「母乳育児・次世代へつなぐメッセージ」第34回日本母乳哺育学会 2019.9.15 岡山県医師会館三木記念ホール
4. 橋本武夫. 特別講演「日本と米国における周産期医療の発展～小さな発展から残された問題も含めて～」第64回日本新生児成育医学会 2019.11.27 鹿児島市城山観光ホテル

—講演—

1. 橋本武夫. 「育児言葉の誤解を解く」. 島岡医院橋本教室 2019.122 京都市島岡医院
2. 橋本武夫. 「困っている子の笑顔のために支援者としての親子へのかかわり方～そのとき私たちにできること～」鳥栖市. 第14回子育て支援関連機関交流会・研修会 2019.2.1 鳥栖市役所
3. 橋本武夫. 「ボランティアとしての懐刀」平成30年度 ボランティア活動者研修会 2019.2.2 鳥栖市社会福祉会館
4. 橋本武夫. 「臨床で役立つ最新情報～母乳育児支援の誤解を解く～」NPO 母子フィジカルサポート研究会 2019.2.9 大阪ドーンセンター
5. 橋本武夫. 「胎嚢から卒乳まで、Hug の子育て」黒川産婦人科育児講演会 2019.2.15
6. 橋本武夫. 「タッチケアとその概念・活動と基本理念」第37回日本タッチケア協会指導者講習会 2019.2.16 盛岡市コミュニケーションギャラリー・リリオ
7. 橋本武夫. 「新生児のタッチケアの実際」第37回日本タッチケア協会指導者講習会 2019.2.16 盛岡市コミュニケーションギャラリー・リリオ
8. 橋本武夫. 「むし歯と自然卒乳」島岡医院橋本教室 2019.2.19 京都市島岡医院
9. 橋本武夫. 「みんな育児の初心者～あせらず 楽しく ゆったりと～」平成30年度・鳥栖市市民活動支援事業・すまいるアップセミナー 2019.2.23 鳥栖市基里まちづくり推進センター
10. 橋本武夫. 「自然卒乳と断乳の違い、なぜ今母乳なのか？」一般社団法人ママズケア講演会 2019.2.23 アクロス福岡
11. 橋本武夫. 「エモーショナルサポートとは？」産前産後サポーター協会・心ゆるり、第34期認定講座 2019.3.7 小郡市心ゆるり
12. 橋本武夫. 「なんとなく気になる子の急増とその対応」島岡医院橋本教室 2019.3.19 京都市島岡医院
13. 橋本武夫. 「新生児医療から共生の療育へ」にこにこはうす医療福祉センター講演会 2019.4.9 神戸市しあわせの村・にこにこハウス医療福祉センター
14. 橋本武夫. 「胎嚢と神生児」島岡医院橋本教室 2019.4.16 京都市島岡医院
15. 「母乳育児支援の誤解と正しい情報」プチプレスト母乳育児支援セミナー 2019.4.21 札幌市・天使大学
16. 橋本武夫. 「母乳育児のエモーショナルサポート」プチプレスト母乳育児支援セミナー 2019.4.21 札幌市・天使大学
17. 橋本武夫. 「生まれて間もなくの赤ちゃんの生理」島岡医院橋本教室 2019.5.21 京都市・島岡医院
18. 橋本武夫. 「新生児医療の進歩と Developmental Care」聖マリア学院大学助産科特別講義 2019.6.6 久留米市・聖マリア学院大学
19. 橋本武夫. 開会あいさつと「タッチケア協会の活動報告」と座長 第7回日本タッチケア学会 2019.6.9 京都・SYD ホール
20. 橋本武夫. 「母乳と食育、楽しい育児を支える～母推さん. 医療関係者に知っておいてほしいこと～令和元年度第1回母子保健研究会 2019.6.10 鳥栖保健福祉事務所
21. 橋本武夫. その子らしく生きるための親子のかかわり方とは？」福山暁の星学院教育講演会 2019.6.16 福山市・暁の星学院
22. 橋本武夫. 「母乳と育児の3原則」島岡医院橋本教室 2019.6.18 京都市・島岡医院
23. 橋本武夫. 「母乳育児支援におけるエモーショナルサポート 一般社団法人ママズケア講演会 2019.6.22 アクロス福岡
24. 橋本武夫. エモーショナルサポートとは？」産前産後サポーター協会心ゆるり 第35期認定講座 2019.6.25 小郡市・心ゆるり
25. 橋本武夫. 「親子の共育ち～発達障害もどきとその対応～」福岡県保育協会、新入職員教育講演会 2019.6.27 宗像市・グローバルアリーナ
26. 橋本武夫. 「過飲症候群と断乳・卒乳」島岡医院橋本教室 2019.7.16 京都市・島岡医院

27. 橋本武夫. 「胎嚢と神生児」 令和元年度佐賀県保育会看護師研修会 2019.8.8 佐賀市・アバンセ」
28. 橋本武夫. 「親と子の共育ち～発達障害もどきとその対応」 令和元年度佐賀県保育会看護師研修会 2019.8.8 佐賀市・アバンセ」
29. 橋本武夫. 「発達障害もどきとその対応」 発達支援ほほえみ主催夏休み特別企画・子どもの発達と学習支援 2019.8.17 福岡市市民福祉プラザ
30. 橋本武夫. 「あたたかい心を育む育児、Q&A」 島岡医院チャイルドトラスト育児講演会 2019.8.18 京都市・島岡医院
31. 橋本武夫. 「赤ちゃんの成長1～1.6歳」 島岡医院橋本教室 2019.8.20 京都市・島岡医院
32. 橋本武夫. 「食育と母乳」 広島モンテッソーリ教師養成コース 2019.8.29 広島市・小百合学園
33. 橋本武夫. 「何か気になる子とその対応」 広島モンテッソーリ教師養成コース 2019.8.29 広島市・小百合学園
34. 橋本武夫. 「タッチケアの始まりとその概念」とタッチケアの実践 第29回日本外来小児科学会年次集会ハンズオンセミナー 2019.9.1 福岡国際会議場
35. 橋本武夫. 「もうひとつのカルテとおもてなしの心」 令和元年度全国重症心身障害者施設職員研修会・看護師コース 2019.9.11 大阪市・山西福嗣記念会館
36. 橋本武夫. 「母乳哺育の最近話題から」 島岡医院橋本教室 2019.9.17 京都市・島岡医院
37. 橋本武夫. 「タッチケアの始まりから～その概念と広がり」 第38回タッチケア指導者講習会 2019.9.21 東京都・国立オリンピック記念青少年総合センター
38. 橋本武夫. 「子育てと子どもの育ちの原点（人との関係とタッチング）全国児童発達支援協議会・発達支援事業にかかわる人材育成研修会 2019.9.23 小郡市・九州歴史資料館
39. 橋本武夫. 「乳幼児の育児～愛着とキャッチボール～」 佐賀カトリック幼稚園保護者会 2019.9.26 佐賀カトリック幼稚園
40. 橋本武夫. 「NICUからの療育支援と療育の場における新しい挑戦令和元年度・佐賀県医療的ケア児等 2019.9.26 若楠療育医療センター
41. 橋本武夫. 「タッチケアと看護」 純真大学看護科特別講義 2019.10.10 福岡市・純真大学
42. 橋本武夫. 「父親（父性）と育児のエトセトラ」 島岡医院橋本教室 2019.10.15 京都市・島岡医院
43. 橋本武夫. 「母乳育児の最近の問題点を知る」 産前産後サポーター協会、心ゆるり 第36期認定講座 2019.10.21 小郡市・心ゆるり
44. 橋本武夫. 「いくじなんでも Q&A」 ありがとう子育て支援センター育児講座 2019.10.29 鳥栖市・あいりす保育園
45. 橋本武夫. 「親子の共育ち～発達障害もどきとその対応～」 周南こどもの心勉強会 2019.10.31 徳山中央病院
46. 橋本武夫. 「新生児医療と療育に寄り添って～探し求めてやさしさとは～」 “あおぞら共和国” 新生児講演会～レジェンドから学ぶ温故知新 新生児講演会実行委員会主催、2019.11.9 山梨県北杜市・あおぞら共和国
47. 橋本武夫. 「母乳育児と子育て」 ママズケア育児講演会 2019.11.15 西宮市ママズケア助産院
48. 橋本武夫. 「お父さんと子育てと躰」 第62回島岡医院子育て講演会 2019.11.17 京都市・島岡医院
49. 橋本武夫. 「親子の共育ち～Hugは百薬の長なり～」 京都市私立幼稚園協会 PTA 連合会、第2回下地地区家庭教育セミナー 2019.11.18 京都市・アソカ幼稚園
50. 橋本武夫. 「子育て環境と救急」 島岡医院橋本教室 2019.11.19 京都市・島岡医院
51. 橋本武夫. 「親子の共育ち～笑って触って冒険の大切さ～」 あさひ幼稚園・子育て応援スッキリカフェ 2019.11.22 佐賀市・あさひ幼稚園
52. 橋本武夫. 「親子の共育ちへの支援」 令和元年度朝倉市保育協会第2回講演会 2019.11.22 朝倉地域生涯学習センター
53. 橋本武夫. 「子育て、こんなときどうする？」 島岡医院橋本教室 2019.12.17 京都市・島岡医院
54. 橋本武夫. 「親子の共育ちを願って～ Loving Hug ～」：冊子発行（12月24日）産前産後ケアシリーズ」 1/月 若楠児童発達支援センター、産前産後・どんぐりこころ子育てサロン（毎月1回継続講和）

—厚生科学研究その他の研究班活動—

1. 橋本武夫. 健やか親子21第4課題「タッチケア」代表幹事 厚生労働省健やか親子21
2. 橋本武夫. 「家族・地域のきずなを再生する国民運動」委員 厚生労働科学研究 子ども家庭総合研究事業
3. 橋本武夫. 子育てを支える「家族・地域のきずな」に関する作品コンクール作品集 審査委員 内閣府・「家族・地域のきずな」フォーラム実行委員会

津村 直幹

—著書・総説—

1. 金子明寛, 池田文昭, 金川昭啓, 坂本春生, 津村直幹, 古土井春吾: 歯性感染症, JAID/JSC 感染症ガイド・ガイドライン作成委員会編, JAID/JSC 感染症治療ガイド 2019, ライフサイエンス出版, 東京, 2019, p272-4
2. 津村直幹: 予防接種最新情報 2019. 八女筑後医報 No.395 令和元年 5 月号 p 4-9

—教育セミナー—

1. 津村直幹: ロタウイルス胃腸炎の最近の疫学, 疾病負担とワクチンの有効性. 教育セミナー 1. 第 30 回日本小児科医会総会フォーラム. 2019.6.8 (京都)

—講演会—

1. 津村直幹: こどもの冬の感染症 ～インフルエンザとロタウイルスを中心に～. 第 24 回香川・岡山小児感染免疫懇話会. 2019.2.10 (高松)
2. 津村直幹: 予防接種の環境変化の中で, 予防接種従事者に求められるもの. 平成 30 年度奈良県市町村看護職員協議会第 5 回研修会 (予防接種研修). 2019.2.15 (橿原)
3. 津村直幹: 予防接種最新情報 2019. 八女筑後医師会予防接種講演会. 2019.3.7 (八女)
4. 津村直幹: 予防接種の環境変化の中で, 保育スタッフに求められるもの. 保育所・幼稚園等における予防接種関係者研修会. 2019.3.14 (久留米)
5. 津村直幹: ロタウイルス胃腸炎は本当に減っている? ～最近の疫学とワクチンの予防効果～. お昼の Web 講演会. 2019.3.26 (長崎)
6. 津村直幹: 小児感染症におけるワクチンと抗菌薬の融合化戦略 ～患者を目の前にした時に～. Meiji Seika ファルマ Web カンファレンス. 2019.4.11 (久留米)
7. 津村直幹: 乳幼児期に必要なワクチンのスケジュール. プレママとプレパパのワクチンセミナー. 2019.5.11 (福岡)
8. 津村直幹: 最近の予防接種の現状と課題 ～ワクチンの精度管理, スケジュール, そして麻疹・風疹の話題を中心に～. 福岡県保険医協会大牟田研究会. 2019.6.13 (大牟田)
9. 津村直幹: ロタウイルス胃腸炎 最近の話題 ～最近の疫学, 疾病負担とワクチンの有効性, 安全性について～. 金沢市小児科医会総会講演会. 2019.6.18 (金沢)
10. 津村直幹: 予防接種最新情報 2019. 平成 31 年度第 1 回浮羽医師会学術講演会. 2019.6.20 (うきは)
11. 津村直幹: ワクチンで防げる病気, 守れる子ども. お母さんとお父さんの楽しい子育てセミナー. 2019.8.3 (宗像)
12. 津村直幹: 定期接種を目指すワクチンとその課題～ワクチンの接種率向上・誤接種防止対策を含めて～. 宮崎市郡小児科医会学術講演会. 2019.8.8 (宮崎)
13. 津村直幹: こどもの冬の感染症 ～インフルエンザを中心に～. 県北小児科医会学術講演会. 2019.10.10 (佐世保)
14. 津村直幹: ロタウイルス胃腸炎の最近の疫学, 疾病負担とワクチンの有効性及び安全性. お昼の Web 講演会. 2019.10.18 (久留米)
15. 津村直幹: こどもの冬の感染症 ～インフルエンザを中心に～. 三島 Influenza Seminar. 2019.10.26 (高槻)
16. 津村直幹: インフルエンザ診療の最前線. 第 214 回筑後小児科医会セミナー. 2019.10.29 (久留米)
17. 津村直幹: 定期接種を目指すワクチンとその課題～ロタウイルスワクチンを中心に～. 京都小児セミナー. 2019.11.9 (京都)
18. 津村直幹: 保育所・幼稚園等における感染症とワクチンで予防できる病気. 令和元年度 保育所・幼稚園等における感染症予防研修会. 2019.12.5 (久留米)
19. 津村直幹: 学校保健における感染性疾患の取扱いについて. 第 44 回福岡県医師会学校保健・学校医大会. 2019.12.7 (久留米)
20. 津村直幹: 定期接種を目指すワクチンとその課題～ワクチンの接種率向上・誤接種防止対策を含めて～. 八幡小児科医会講演会. 2019.12.12 (北九州)
21. 津村直幹: こどもの冬の感染症 ～インフルエンザを中心に～. 第 561 回北九州地区小児科医会例会. 2019.12.19 (北九州)

—学会発表—

1. 津村直幹 (つむら診療所), 棚成嘉文, 伊勢田満, 徳永ちかげ, 板東千代子, 岩根美咲 (和田小児科): 2018/19 シーズンのインフルエンザ小児に対するバロキサビル マルボキシルの使用経験. 第 29 回外来小児科学会年次集会 演題 18. 2019.8.31 (福岡)

吉永 陽一郎

—論文—

1. 吉永陽一郎. 子育ての、そばにいる人は誰?. 外来小児科. 2019V; 22: 506-511
2. 吉永陽一郎. 新生児乳児の感覚機能の発達とコミュニケーション 触覚: タッチケア、カンガルーケア、ハグ. 周産期医学. 2019; 49: 1593-1595

—著作—

1. 吉永陽一郎. 育児情報サイト「たまひよ」陽ちゃん先生の診察室だより
 - 1) 顔色が悪い赤ちゃん、意外な原因「冷蔵オッパイ飲ませる」2019.1.24
 - 2) うんちが出ない 踏ん張る姿勢でわかること「排便時痛」2019.2.19
 - 3) 授乳のたびにゼロゼロ 風邪? 「喉頭軟化傾向」2019.3.22
 - 4) 春の子どもたち、かわいい様子に笑顔が 2019.5.5
 - 5) 繰り返し目やにの出る赤ちゃん「鼻涙管通過障害」2019.5.22
 - 6) ゼーゼーと苦しそうな赤ちゃんの咳「ヒトメタニューモウイルス」2019.3.19
 - 7) 爪が剥がれてきた「手足口病」2019.7.26
 - 8) おたふくかぜではなかった耳の下の腫れ「伝染性単核症」2019.8.20
 - 9) 湿潤療法でけがが治らない「化膿瘡」2019.9.29
 - 10) ステロイドが効かないおむつかぶれ「陰部真菌症」2019.10.20
 - 11) 熱があるのに体が冷えている「暖房器具熱」2019.11.26

—講演—

1. 吉永陽一郎. 親と子に、私が、私たちが出来ること. 児童虐待防止講演会. 2019.1.20 久留米市
2. 吉永陽一郎. 小児虐待対策と愛着形成. 荘島小学校学校保健委員会. 2019.2.14 久留米市
3. 吉永陽一郎. タッチケアの手技とその広がり. タッチケア指導者講習会. 2019.2.17 盛岡市
4. 吉永陽一郎. 自分を総動員しての外来小児科の魅力. 日本外来小児科学会 学生若手医師支援委員会「こどもどこ」研修会. 2019.3.21 東京
5. 吉永陽一郎. 保育所での子どもの健康と病気. 筑後地方保育士会研修会. 2019.4.25 久留米
6. 吉永陽一郎. 予防接種の現場から あるクリニックの実際. MSD オンラインセミナー. 2019.5.23 久留米
7. 吉永陽一郎. 保育所での子どもの健康と病気のケア. 広川町保育協会研修会. 2019.7.26 久留米市
8. 吉永陽一郎. 子育ての、そばにいる人は誰?. 第29回日本外来小児科学会会頭講演. 2019.8.25 福岡市
9. 吉永陽一郎. タッチケアの手技とその広がり. タッチケア指導者講習会. 2019.9.22 東京

—学会発表—

1. 吉永陽一郎. 手頃で使える診察用ペンライトを求めて. 第29回日本外来小児科学会. 2019.8.31 福岡市

武谷 茂

—論文—

1. 武谷茂. 小児科らしいコミュニケーション. 日本小児科医会会報. 東京: 日本小児科医会, 2019; 57: 25-29.
2. 武谷茂. 保育の実際: 子どもの「気になる顔」「病気の顔」. 保育と保健. 東京: 日本保育保健協議会, 2019; 25: 22-24.
3. 武谷茂. 保育における印象判断/診断. ほいくしんり. 京都: 大谷保育協会, 2019; 12: 6-17.
4. 武谷茂. 山下文雄語録と日本外来小児科学会創立の頃. 福岡県小児科医報. 福岡: 福岡県小児科医会, 2019; 57: 79-81

—講演—

1. 武谷茂. ビジュアル「直観による印象判断/診断～問診・子どもの反応・顔つき～」. 第11回保育心理研究会 2019.1.13 (京都)
2. 武谷茂. 子どもの「気になる顔」「病気の顔」. 日本保育保健協議会九州ブロック研修会 2019.3.3 (熊本)
3. 武谷茂. 見て、聞いて、考える、多職種スタッフ武谷塾・ビジュアル「実践小児看護学」. 第29回日本外来小児科学会年次集会・セミナー3 2019.9.1 (福岡)
4. 武谷茂. ビジュアル保育学: 子どもの「気になる顔」「病気の顔」. 北九州保育連盟主催. 保育士研修大会. 2019.11.3 (北九州市)

—講義—

1. 久留米大学医学部医学科1学年 顔つきから健康情報を読み取る 2019.5.9

2. 久留米大学医学部医学科5学年ミニ・レクチャー 小児プライマリ・ケア概論 2019.2.6
3. 久留米大学医学部小児科学講座 ブラッシュアップセミナー 印象診断の実際 2019.11.7
4. 久留米大学医学部看護学科3年生. プライマリ・ケア看護、ワクチン接種で予防できる病気 2019.5.17,24
5. 久留米大学人間健康学部総合こども学科2学年. 子どもの顔にみられる心理的異変、病気の症状 2019.6.7
6. 古賀国際看護学院2学年 臨床小児看護学 2019.10.8-29.11.5 (計4回)

牟田 広実

—論文—

1. 牟田広実. 小児保健・医療「すべきこと」「すべきでないこと」第9回 鎮咳薬・去痰薬の選択. チャイルドヘルス 2019;22:57-60

—講演・シンポジウム—

—国内学会—

シンポジウム

1. 牟田広実. 特別企画7 これからの小児科学研究をどのように進めるか：活躍する先輩小児科 physician-scientist からのメッセージ：開業医だからこそできる臨床研究. 第122回日本小児科学会学術集会. 2019.4 (金沢)

講演

1. 牟田広実. 開業医がパリビズマブ投与を行うメリット - 当院での経験 -. 第307回筑豊小児科医会勉強会. 2019.5 (飯塚)

ワークショップ

1. 一ノ瀬英史, 中村裕子, 牟田広実, 岡本茂, 木村学, 中川元, 松島和樹, 安斎祐子. Child Health Examination and Empowerment of child Rearing (CHEER). 2019.2 (さいたま)
2. 野田隆, 牟田広実. 自己肯定感が低い子どもたちに、いかにして喫煙防止教育を行うか？第14回日本禁煙科学会学術総会 in 大阪. 2019.9 (大阪)

—学会・研究会演題—

—国内学会—

1. 牟田広実. ペニシリン系抗菌薬処方障害となっている要因を探る. 第29回日本外来小児科学会年次集会. 2019.8 (福岡)
2. 荒木薫, 原めぐみ, 青木才一志, 牟田広実. 症例対照研究によるロタウイルスワクチンの有効性評価 (2019シーズン). 第23回日本ワクチン学会学術集会. 2019.11 (東京)

石井 正浩

—論文—

1. Ishii M, Ebato T, Kato H. History and future of treatment for acute stage Kawasaki disease. Korean Circ. J. 2020;e9-e17

松浦 伸郎

—論文—

1. 松浦伸郎. 保育所における感染症対策 ガイドラインの改定について 登園停止 欠席扱いの疾患 保育と保健 第25巻1号 105-107 2019

—講義—

1. 吉田悌三郎, 藤原克彦, 五百井寛明, 近藤晃司, 戸谷由樹, 桃井健仁, 戸谷由樹, 大室智士, 澤田雅弘, 宮本茂好, 山本秀三, 山本一郎, 中野稔雄, 松浦伸郎. 「姫路市における運動器検診の検討」日本プライマリ・ケア連合学会 第33回近畿地方会 姫路 2019年12月1日
2. 清水滋太, 山本一郎, 三和秀輔, 磯川利夫, 黒坂文武, 小川晃弘, 神吉直宙, 島正之, 寺田邦彦, 西川実徳, 花岡健司, 山田琢, 松浦伸郎. 24年続く姫路市による大気汚染の健康に及ぼす影響調査で得たアレルギー疾患疫学調査

第33回近畿地方会 姫路 2019年12月1日

3. 福永雅文, 北郷悠子, 下村美香, 松浦伸郎. トウレット症候群 (TS) に対して アリピプラゾール (APZ) が著効した女児例 第33回近畿地方会 姫路 2019年12月1日
4. 五百井寛明, 中川伸一, 石見鈴子, 立岩洋一, 戸谷由樹, 中島玲, 平石賢二郎, 山田一仁, 山本哲也, 吉本健朗, 北野義孝, 柏原米男, 神吉直宙, 土居治, 八若博司, 山本一郎, 中野稔雄, 松浦伸郎. 「姫路市の幼稚園・学校検尿にて発見され, 腎生検を施行した症例の検討 (IgA腎症を中心に)」11月23日 第50回全国学校保健・学校医大会 2019年11月23日 埼玉市
5. 松浦伸郎, 川島崇. 地域医療の中での小児科医の役割 外来小児科学会 福岡 2019年9月1日
6. 吉田悌三郎, 藤原克彦, 五百井寛明, 桃井健仁 戸谷由樹, 近藤晃司 松浦伸郎, 中野稔雄, 山本一郎. 姫路市における運動器検診の結果と問題点について 2019年2月24日(日) 第67回近畿医師会連合学校医研究協議会総会 奈良

—講演—

1. 松浦伸郎. 姿勢と子供の健康 古知小学校校医 2019年1月30日 古知小学校学校保健委員会
2. 松浦伸郎. 糖尿病の予防と管理の一手段としてGIを生かす 2019年6月21日 キリン姫路営業所にて
3. 松浦伸郎. 地域連携について - 多職種連携の現状について - たつの市薬剤師会講演会 2019年7月4日 於 赤とんぼ文化ホール 兵庫県たつの市
4. 松浦伸郎. 子どものロコモ 菅生小学校 2019年12月23日
5. 兵庫県立大学講義 学校保健担当 兵庫県立大学環境人間学部 姫路 2019年4月18日 5月9日 5月23日 5月30日 6月20日 7月11日

杉村 徹

—学会発表—

1. 杉村徹. なぜ? どうして?: リサーチマインド! Why? How come?: Research Mind!
第122回日本小児科学会学術集会. 特別企画7. これからの小児科学研究をどのように進めるか; 活躍する先輩小児科 physician-scientists からのメッセージ: 2019,4.21 (金沢)